

◆ 江東区 ◆

中小企業の景況

令和7年度第2四半期

(令和7年7月～9月期)



深川不動堂 旧本堂



目次

都内中小企業の景況（令和7年7月～9月期）	1
江東区内中小企業の景況（令和7年7月～9月期）	2
製造業	3
卸売業	7
小売業	11
サービス業	15
日銀短観	18
特別調査「不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営について」	19
中小企業景況調査 比較表	22
中小企業景況調査 転記表	25








調査の概要

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. 調査時期 | 令和7年7月～9月期を対象に令和7年9月上旬に実施 |
| 2. 調査方法 | 面接聴取調査 |
| 3. 調査の対象と回収状況 | 有効回収率 92.4% |

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	102	98
卸 売 業	25	21
小 売 業	39	35
サ ー ビ ス 業	32	29
建 設 業	5	4
不 動 産 業	8	8
合 計	211	195

4. 未回収事業所の内訳

[illegible]

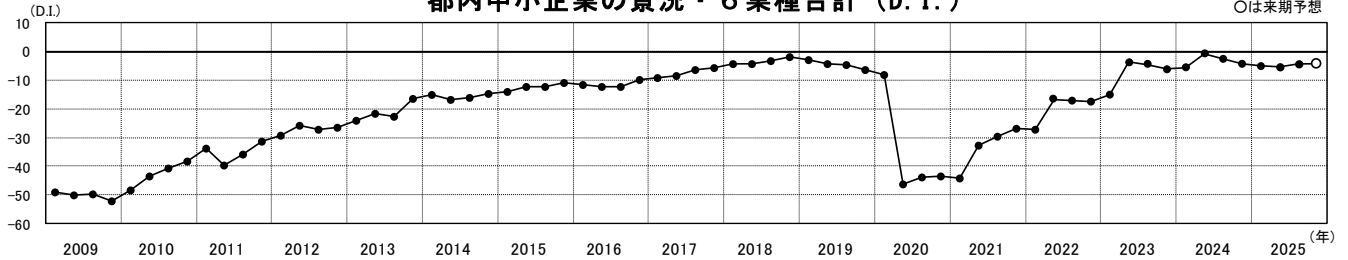
業種別 定点指標値	A 	B 	C 	D 	E 	F 	G 
製 造 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
卸 売 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小 売 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サ ー ビ ス 業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建 設 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
不 動 産 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
	好調 ←			普通	→ 不調		

都内中小企業の景況（令和7年7月～9月）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

業況は前期同様の厳しさ続く

都内中小企業の景況・6業種合計（D.I.）



今期の6業種合計の業況判断DIは、△4.3（前期△5.4）と前期同様の厳しさが続いた。業種別で見ると、製造業、卸売業、小売業は前期同様の厳しさが続き、建設業、不動産業は前期並の好感感が続いた。そのほか、サービス業は前期同様変化なく推移した。

来期は、建設業においてわずかに好感感が後退し、その他の業種は、今期同様に推移すると予想している。

	前期	今期	前期との増減	来期予想	今期との増減
製造業	-11.4	-10.1	1.3	-7.7	2.4
卸売業	-6.8	-6.7	0.1	-7.0	-0.3
小売業	-14.5	-13.7	0.8	-12.7	1.0
サービス業	-4.0	-3.0	1.0	-2.9	0.1
建設業	10.8	11.9	1.1	6.8	-5.1
不動産業	7.6	8.8	1.2	6.6	-2.2
総合	-5.4	-4.3	1.1	-4.4	-0.1

※前期（2025年4～6月） 来期（2025年10～12月）

＜製造業＞

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・受注残・収益は前期同様の減少幅で推移した。業種別では、食料品が大幅に持ち直し、皮革関連・建設用金属はわずかに改善が見られた。一方、プラスチックは大幅に悪化を強めた。価格面では販売価格・原材料価格ともに前期並の上昇が続いた。資金繰りは前期同様の厳しさで、人手は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「原材料高」（39%）、「売上の停滞・減少」（33%）、「人手不足」（18%）が上位を占めた。重点経営施策も前期同様に「販路を広げる」（54%）、「経費を節減する」（45%）、「人材を確保する」（18%）の順となった。

来期の業況は水面下ながらわずかに改善すると予想しており、売上額・受注残・収益は今期並の減少が続くと見ている。価格面では販売価格・原材料価格ともにやや落ち着きを見せると予想している。

＜卸売業＞

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額はわずかに好転し、収益は増減なく推移した。業種別に見ると化学製品が大幅に悪化に転じ、繊維・衣服は水面下ながらわずかに持ち直した。価格面では販売価格は前期並の上昇が続き、仕入価格はやや上昇傾向を強めた。資金繰りは前期並の厳しさで、在庫は前期同様の過剰感が続いた。人手は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は「売上の停滞・減少」（34%）、2位に「同業者間の競争の激化」（24%）が上昇し、「仕入先からの値上げ要請」（23%）と続いた。重点経営施策については前期同様に「販路を広げる」（58%）、「経費を節減する」（43%）、「人材を確保する」（21%）が上位を占めた。

来期の業況は今期同様の厳しさが続くとは予想している。売上額・収益は増減なく推移すると見ている。価格面では販売価格・仕入価格ともに上昇が弱まると予想している。

＜小売業＞

業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額・収益は前期並の減少が続いた。業種別ではスポーツ用品・玩具で大幅な改善が見られ、木材・建築材料は大きく好転した。一方、医薬品・化粧品が大幅に悪化に転じ、家具・建具・じゅう器は大きく低迷した。価格面では販売価格・仕入価格ともに前期並の上昇が続き、資金繰りは前期並の厳しさで、人手は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「売上の停滞・減少」（32%）、「仕入先からの値上げ要請」（23%）、「利幅の縮小」（19%）が上位を占めた。重点経営施策も前期同様に「経費を節減する」（47%）、「品揃えを改善する」（26%）、「宣伝・広告を強化する」（21%）と続いている。

来期の業況は今期同様の厳しさが続くとは予想している。売上額は増減なく推移し、収益はわずかに改善すると見ている。価格面では販売価格は今期並の上昇が続き、仕入価格は上昇が弱まると予想している。

＜サービス業＞

業況は前期同様変化なく推移した。売上額・収益は増減なく推移した。業種別では情報サービス・調査・広告においてわずかに好感感が強まった。価格面では料金価格は前期並の上昇が続き、材料価格はわずかに上昇が弱まった。資金繰りは前期並の厳しさで、人手は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「人手不足」（30%）、「人件費の増加」（28%）、「売上の停滞・減少」（25%）と続いている。重点経営施策も前期同様に「経費を節減する」（39%）、「販路を広げる」（38%）、「人材を確保する」（28%）が上位を占めた。

来期の業況は今期同様変化なく推移すると予想している。売上額・収益は増減なく推移すると見ている。価格面では料金価格・材料価格ともにやや上昇が弱まると予想している。

＜建設業＞

業況は前期並の好感感が続いた。売上額・受注残・施工高・収益は前期同様の増加が続いた。業種別では職別工事がわずかに上向き、官公庁請負はやや好感感を強めた。価格面では請負価格がわずかに上昇傾向を強め、材料価格はやや上昇が弱まった。資金繰りは前期同様変わらず、人手は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「材料価格の上昇」（51%）、「人手不足」（41%）、「売上の停滞・減少」（19%）となった。重点経営施策も前期同様に「人材を確保する」（43%）、「経費を節減する」（40%）、「販路を広げる」（36%）の順となった。

来期の業況はわずかに好感感が後退すると予想している。売上額・施工高はやや増加傾向が一服し、受注残・収益は今期同様の増加が続くと見ている。価格面では請負価格、材料価格ともにわずかに上昇が弱まると予想している。

＜不動産業＞

業況は前期並の好感感が続いた。売上額・収益は前期同様の増加となった。業種別では建売・土地売買は前期並の好感感が続き、不動産代理・仲介は前期同様変化なく推移した。価格面では販売価格・仕入価格ともにやや上昇傾向を強めた。在庫は前期並の不足感で、人手は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「商品物件の高騰」（35%）、「同業者間の競争の激化」（28%）、「商品物件の不足」（25%）となった。重点経営施策は「情報力を強化する」（38%）、「経費を節減する」（27%）に続き、3位に「販路を広げる」（26%）が上昇した。

来期の業況は今期並の好感感が続くとは予想している。売上額・収益においても今期並の増益が続くと見ている。価格面では販売価格・仕入価格ともにやや上昇が弱まると予想している。

【注】○D.I.（Diffusion Index の略）

D.I.（ディファージ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの方が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○D.I.（季節調整済）

季節調整済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD.I.を過去5年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD.I.値です。修正値ともいいます。

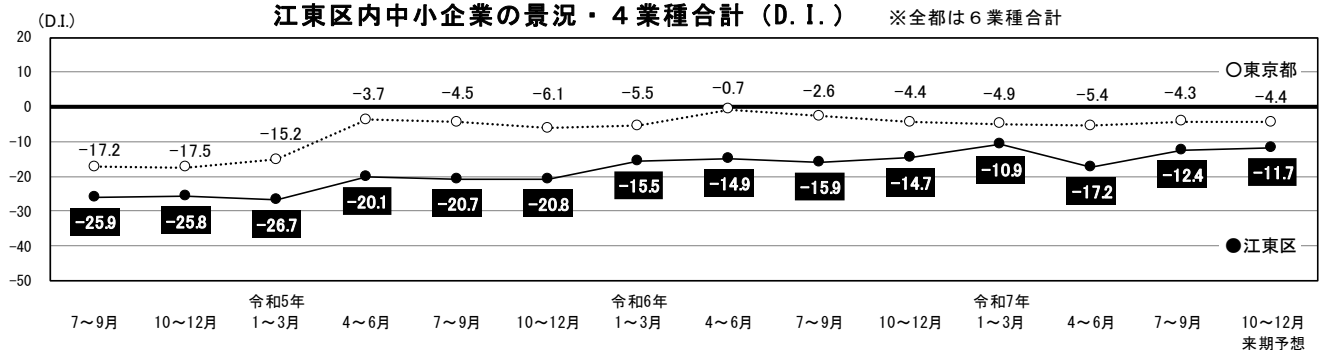
○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

江東区内中小企業の景況（令和7年7月～9月）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

**業況（ $\Delta 17.2 \rightarrow \Delta 12.4$ ）は4業種全てで改善傾向が見られた。
～製造業で2.2ポイント、卸売業で13.7ポイント、
小売業で1.1ポイント、サービス業で11.7ポイント前期を上回った～**



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-12.4（前期は-17.2）とやや改善した。業種別に見ると、製造業で2.2ポイント、卸売業で13.7ポイント、小売業で1.1ポイント、サービス業で11.7ポイントと全ての業種で前期を上回り悪化幅が縮小した。

来期の業況判断DIは、今期同様厳しい状況が続くと予想している。業種別に見ると、製造業はわずかに上向き、卸売業は大幅に厳しさを増し、小売業は今期並、サービス業はやや減少を強めると見込んでいる。

	前期	今期	前期との増減	来期予想	今期との増減
製造業	-18.3	-16.1	2.2	-11.5	4.6
卸売業	6.6	20.3	13.7	9.8	-10.5
小売業	-27.7	-26.6	1.1	-24.9	1.7
サービス業	-20.7	-9.0	11.7	-12.8	-3.8
総合	-17.2	-12.4	4.8	-11.7	0.7

※前期（2025年4～6月） 来期（2025年10～12月）

※「総合」は上記の4業種でのD.I.値

<製造業>

業況はわずかに悪化幅が縮小した。売上額は若干上向き、受注残はほぼ横這いで推移、収益はやや増益となった。価格面では、販売価格と原材料価格がやや下降した。原材料在庫はわずかに不足へと転じた。

来期の業況は幾分改善すると予想している。売上額はやや増加し、収益は前期同様の水準で推移、受注残は若干改善すると見込まれている。販売価格は多少上昇が強まり、原材料価格は若干下降すると予想している。

<卸売業>

業況は前期から大幅に好調感が強まった。売上額はかなり増加したが、収益は大きく減益となった。価格面では、販売価格は大幅に下降し、仕入価格はやや上昇した。在庫数量は前期並の過剰感となった。

来期の業況は大きく今期を下回ると予想している。売上額はかなり下降するが、収益はやや増益になると見込んでいる。販売価格は今期同様の水準で推移し、仕入価格は大きく下降すると予想している。

<小売業>

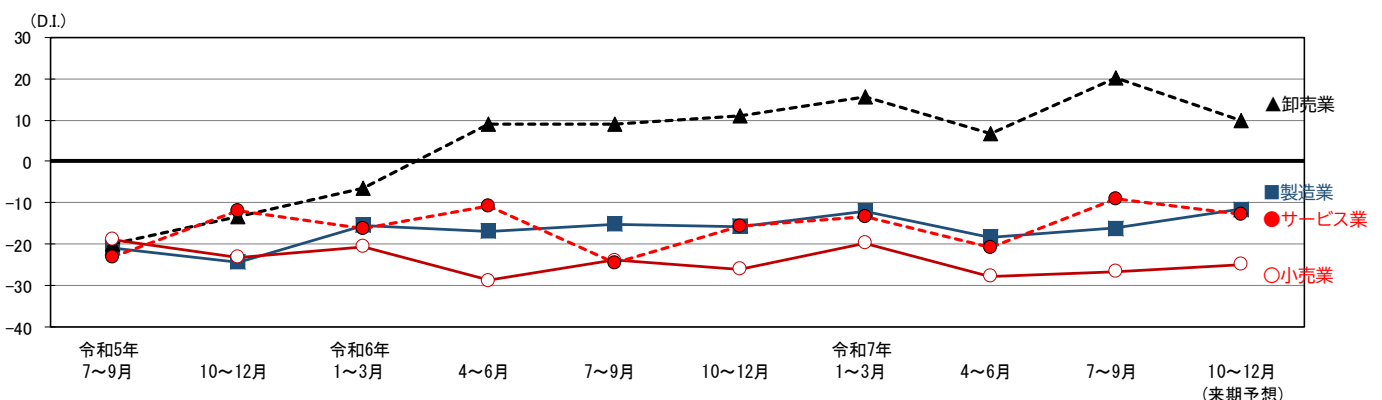
業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は若干減少を強め、収益はほぼ横這いとなった。価格面では、販売価格はほぼ変化なく、仕入価格は幾分下降した。在庫数量は水面下ながら適正水準となった。

来期の業況は今回並の厳しさが続くと見込まれている。売上額と収益は若干改善すると予想している。販売価格は今期同様の水準で推移し、仕入価格は幾分下降すると見込まれている。

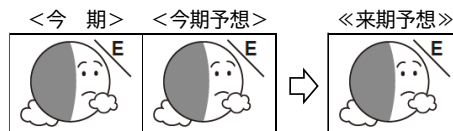
<サービス業>

業況は前期から大幅に改善した。売上額は大きく増加し、収益は大幅に増益となった。価格面では、料金価格は若干下降し、材料価格は大幅に下降した。

来期の業況はやや悪化すると見込まれている。売上額は若干増加し、収益は幾分増益になると予想している。料金価格は大きく下降し、材料はわずかに上昇すると見込まれている。



製造業



売上額・受注残・収益の動向と業況判断

業況は前期△18.3 から今期△16.1 とわずかに改善した。売上額（前期△7.5 から今期△5.5）はやや増加となり、受注残（前期△6.1 から今期△4.3）はほぼ横這いで推移した。収益（前期△8.3 から今期△5.7）はわずかに増益となった。

価格・在庫動向

販売価格（前期 11.5 から今期 6.7）はやや減少した。原材料価格（前期 23.4 から今期 19.8）はわずかに下降し、原材料在庫は前期0.4 から今期△3.0 と若干不足へと転じた。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰り（前期△8.0 から今期△9.2）は前期並の厳しさとなり、借入難易度（前期△4.4 から今期△8.2）は幾分窮屈感が増した。今期借入をした・または予定ありの企業は 13.3%で、前期の 11.0%より 2.3 ポイント増加し、設備投資を実施した・または予定ありの企業は 6.1%で、前期の 8.0%より 1.9 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

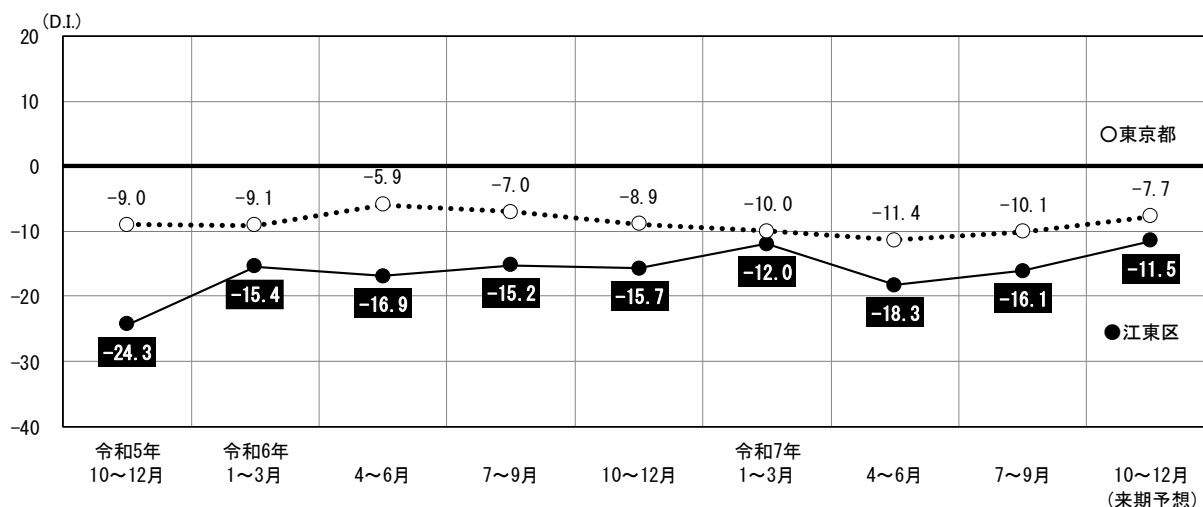
経営上の問題点は、「原材料高」が25.5%で最多となり、次いで「売上の停滞・減少」が21.4%、「同業者間の競争の激化」が17.3%と続いている。

重点経営施策は、「経費を節減する」が42.9%で最多となり、次いで「販路を広げる」が38.8%、「情報力を強化する」が13.3%となった。

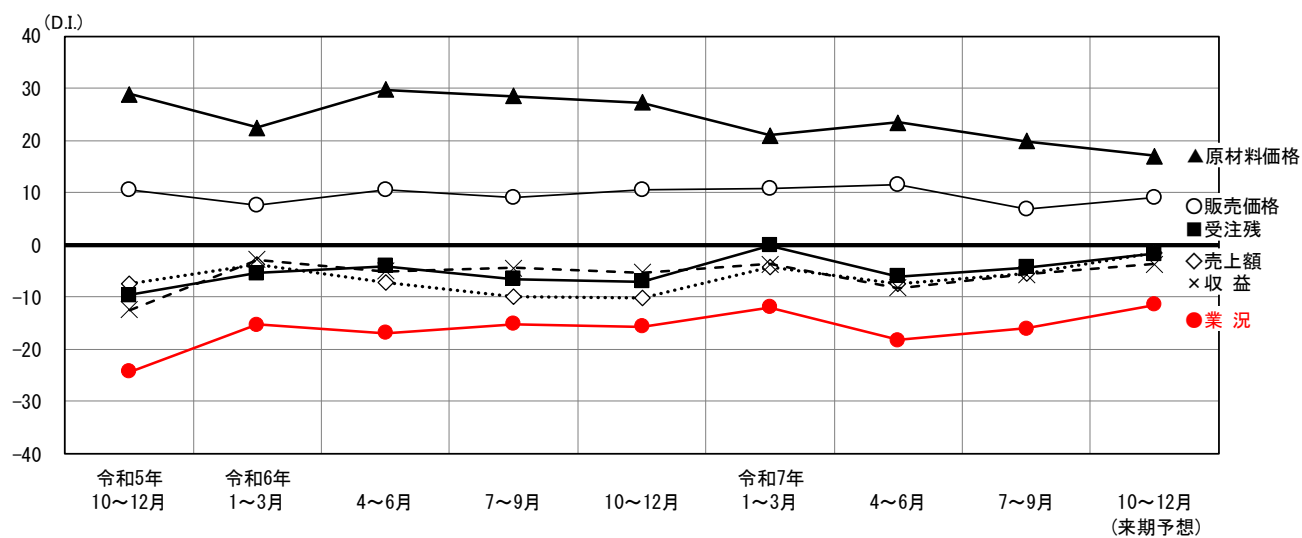
来 期 の 見 通 し

来期の見通しは、業況（△11.5予想）は多少上向くと予想している。売上額（△1.6予想）はわずかに改善し、受注残（△1.8予想）はやや増加、収益（△3.8予想）は今期並になると見込まれている。販売価格（9.0予想）は幾分上昇し、原材料価格（17.0予想）は若干下降すると予想している。

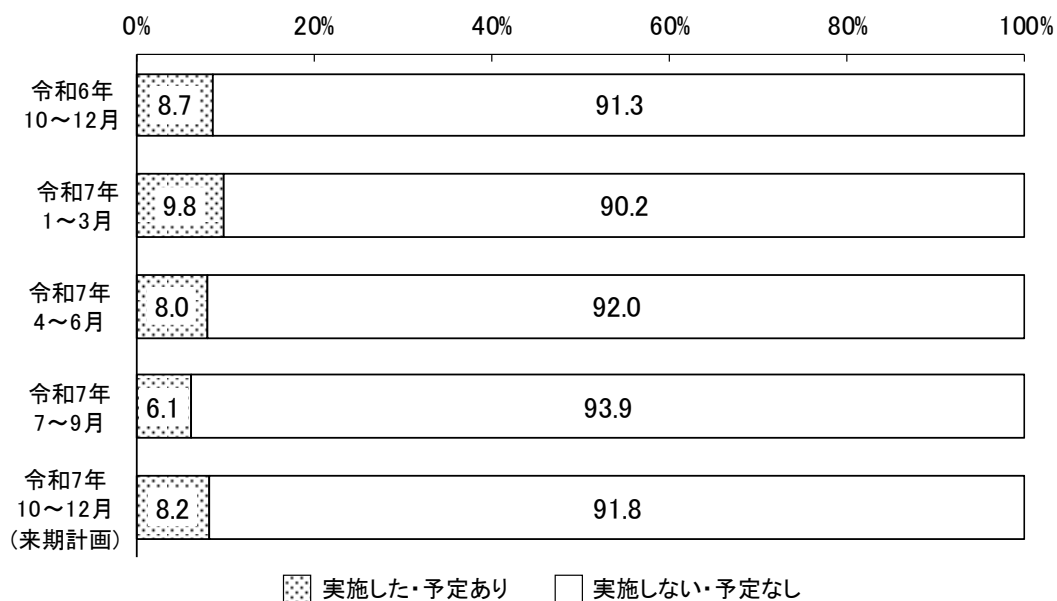
江東区と全都の製造業・業況の動き（実績）と来期の予測



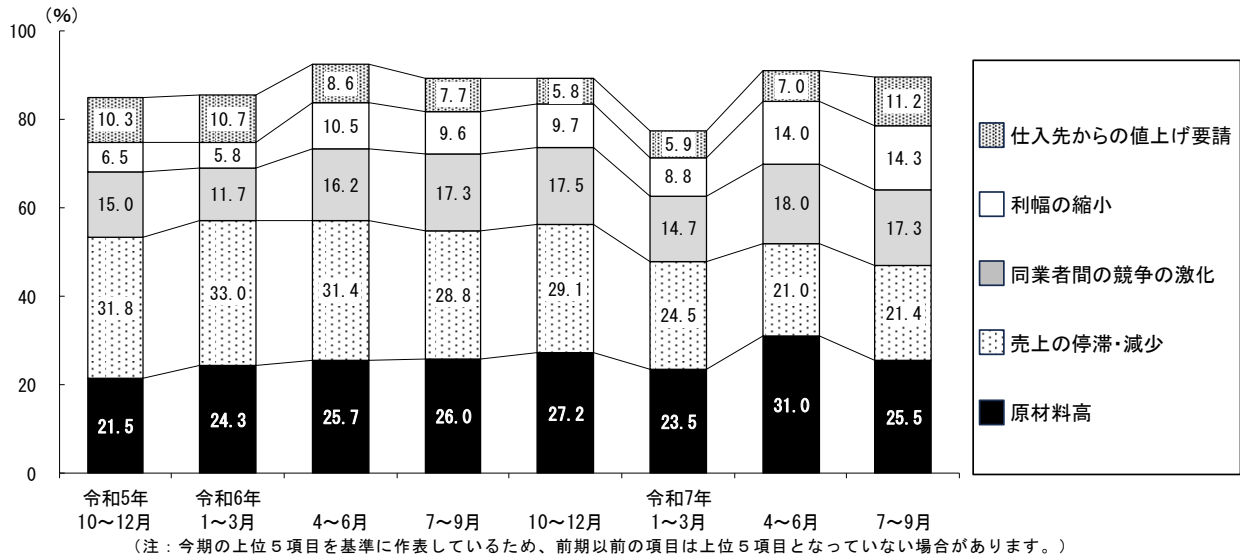
【製造業】業況と売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



【製造業】設備投資動向

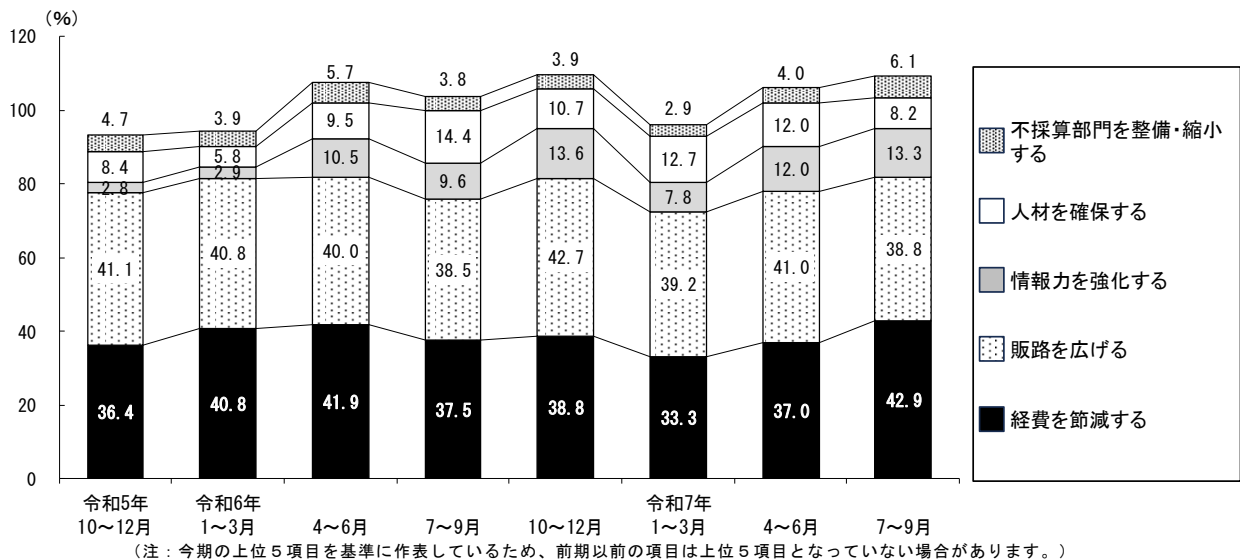


【製造業】 経営上の問題（％）



令和6年10～12月期		令和7年1～3月期		令和7年4～6月期		令和7年7～9月期	
売上の停滞・減少	29.1%	売上の停滞・減少	24.5%	原材料高	31.0%	原材料高	25.5%
原材料高	27.2%	原材料高	23.5%	売上の停滞・減少	21.0%	売上の停滞・減少	21.4%
同業者間の競争の激化	17.5%	同業者間の競争の激化	14.7%	同業者間の競争の激化	18.0%	同業者間の競争の激化	17.3%
利幅の縮小	9.7%	人手不足	9.8%	利幅の縮小	14.0%	利幅の縮小	14.3%
人手不足 仕入先からの値上げ要請	5.8%	利幅の縮小	8.8%	人手不足	9.0%	仕入先からの値上げ要請	11.2%

【製造業】 重点経営施策（％）



令和6年10～12月期		令和7年1～3月期		令和7年4～6月期		令和7年7～9月期	
販路を広げる	42.7%	販路を広げる	39.2%	販路を広げる	41.0%	経費を節減する	42.9%
経費を節減する	38.8%	経費を節減する	33.3%	経費を節減する	37.0%	販路を広げる	38.8%
情報力を強化する	13.6%	人材を確保する	12.7%	人材を確保する 情報力を強化する	12.0%	情報力を強化する	13.3%
人材を確保する	10.7%	情報力を強化する	7.8%			人材を確保する	8.2%
不採算部門を整理・縮小する 工場・機械を増設・移設する	3.9%	不採算部門を整理・縮小する 提携先を見つける	2.9%	不採算部門を整理・縮小する 機械化を推進する	4.0%	不採算部門を整理・縮小する	6.1%

製造業 業種別動向

■ 繊維工業、衣服、その他繊維製品

業況（前期18.1→今期△33.3）は非常に大きく悪化した。売上額（△3.5→△46.3）は極端に減少し、収益（△3.5→△46.3）も大幅に減益となった。販売価格（△3.5→△46.3）と原材料価格（△9.5→△45.1）はどちらも非常に大きく下降した。原材料在庫（△3.5→△46.3）は極端に品薄感が強まり、資金繰り（32.0→△44.4）は非常に大きく厳しい状況に転じた。

■ 木材、木製品

業況（前期△55.1→今期△48.8）は大きく上向いた。売上額（△63.4→△34.7）は極端に増加し、収益（△45.4→△25.7）も大幅に改善した。販売価格（△7.7→△12.7）は幾分下降し、原材料価格（9.9→△5.6）は大幅に下降した。原材料在庫（△4.4→△4.6）は前期並の品薄感で推移し、資金繰り（△8.3→△10.6）はわずかに窮屈感が強まった。

■ 出版、印刷、製版、製本業

業況（前期△23.6→今期△29.5）はかなり低調感を強めた。売上額（△13.9→△16.4）は若干減少し、収益（△8.2→△10.7）はやや減益となった。販売価格（5.7→6.5）はほぼ横這い、原材料価格（18.2→15.1）は幾分下降した。原材料在庫（1.9→△1.5）はわずかに品薄へと転じたが適正水準に保たれた。資金繰り（△14.2→△15.6）は前期並の厳しさとなった。

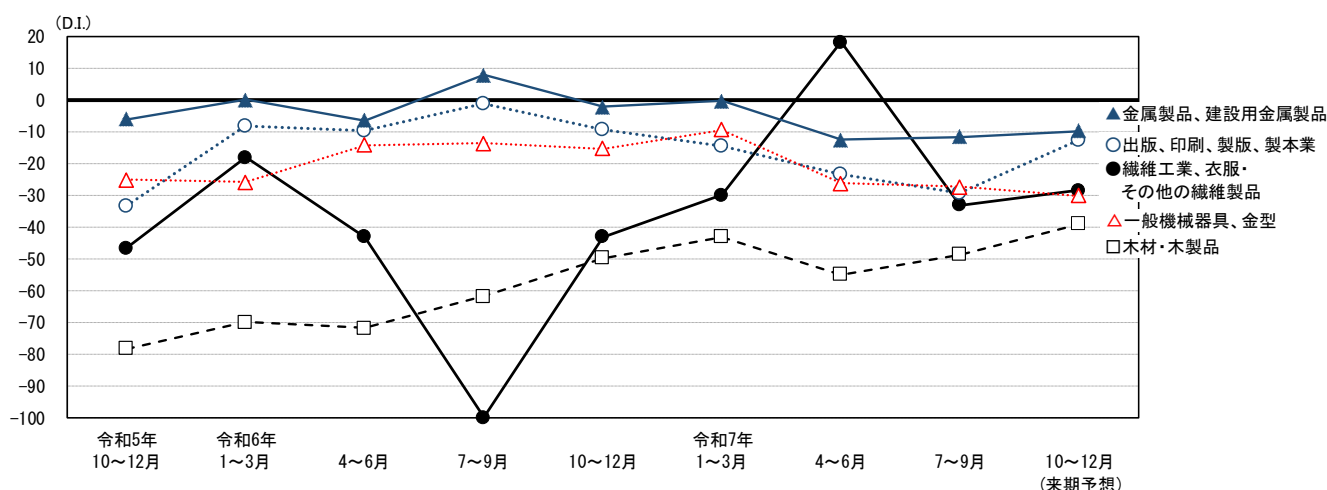
■ 金属製品、建設用金属製品

業況（前期△12.7→今期△11.7）は前期並の厳しさとなった。売上額（△9.9→3.4）は大きく増加し、収益（△16.4→1.4）は大幅に増益となった。販売価格（19.8→10.4）はかなり下降し、原材料価格（30.0→30.7）は横這いで推移した。原材料在庫（△0.1→△0.3）は変化なく適正水準であった。資金繰り（△8.3→△11.1）は若干苦しさを増した。

■ 一般機械器具、金型

業況（前期△26.3→今期△27.5）は前期同様の厳しさとなった。売上額（△2.8→△3.2）はほぼ変化なく、収益（△20.8→△26.3）はかなり減益となった。販売価格（18.4→△22.8）は非常に大きく下降し、原材料価格（40.1→61.9）は極端に上昇した。原材料在庫（22.3→1.5）は大幅に過剰感が改善して適正水準となり、資金繰り（△2.9→△25.7）は極端に苦しさが強まった。

業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



卸 売 業

売上・収益の動向と業況判断

業況は前期6.6 から今期20.3 と大きく良化した。売上額は前期5.6 から今期11.2とかなり増加し、収益は前期3.6 から今期△3.1と大きく減益となった。

価格・在庫動向

販売価格は前期 33.2 から今期 19.2と大幅に下降した。仕入価格は前期 40.8 から今期 45.1とやや増加した。在庫数量は前期8.6から今期8.7とほぼ横這いとなった。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰り（前期6.7から今期5.8）は前期並となり、借入難易度（前期15.0 から今期△5.2）は極端に窮屈感が現れた。今期借入をした・または予定ありの企業は 14.3%で、前期の 9.5%より 4.8 ポイント増加し、設備投資を実施した・または予定ありの企業は 20.0%で、前期同様となった。

経営上の問題点・重点経営施策

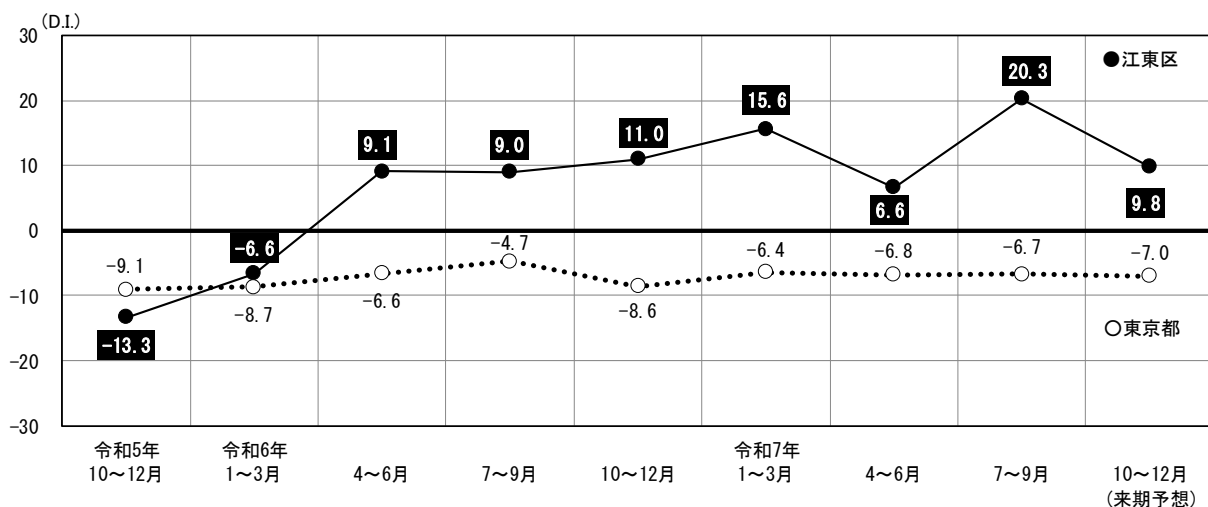
経営上の問題点は、「仕入先からの値上げ要請」が23.8%で最多となり、次いで「人手不足」、「売上の停滞・減少」が19.0%、「販売商品の不足」が14.3%と続いた。

重点経営施策は、「販路を広げる」、「情報力を強化する」、「経費を節減する」が28.6%で最多となり、次いで「人材を確保する」が14.3%、「教育訓練を強化する」が9.5%となった。

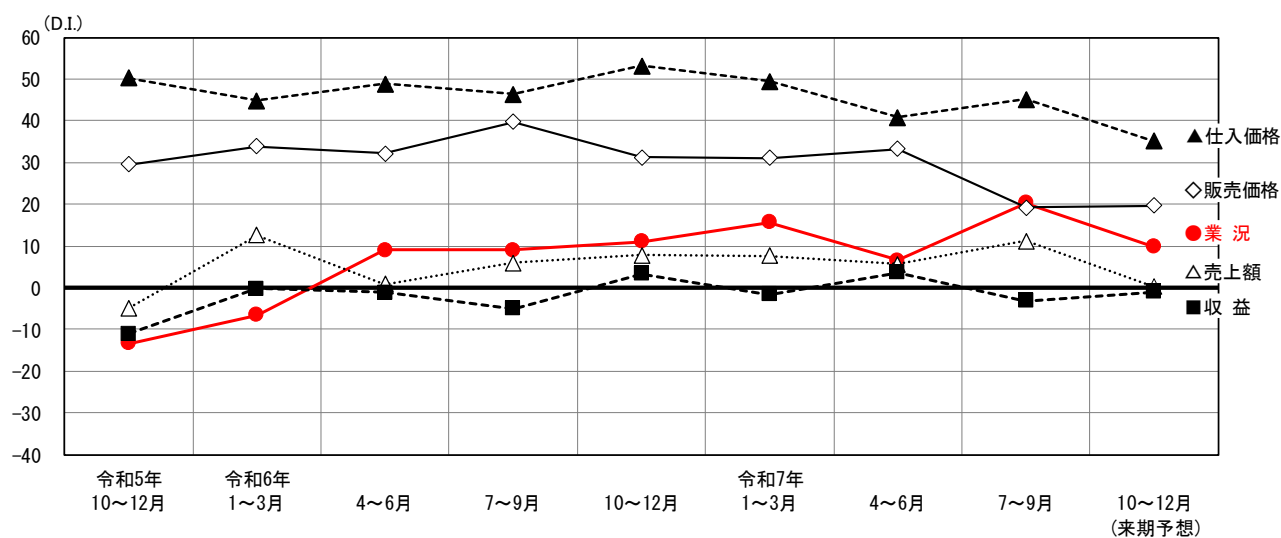
来 期 の 見 通 し

来期の見通しは、業況（9.8予想）は大きく悪化すると予想している。売上額（0.3予想）は大幅に下降し、収益（△1.0予想）はわずかに増益となると見込まれている。販売価格（19.7予想）は横這いで推移し、仕入価格（35.1予想）は厳しい状況は続くもののかなり下降すると予想している。

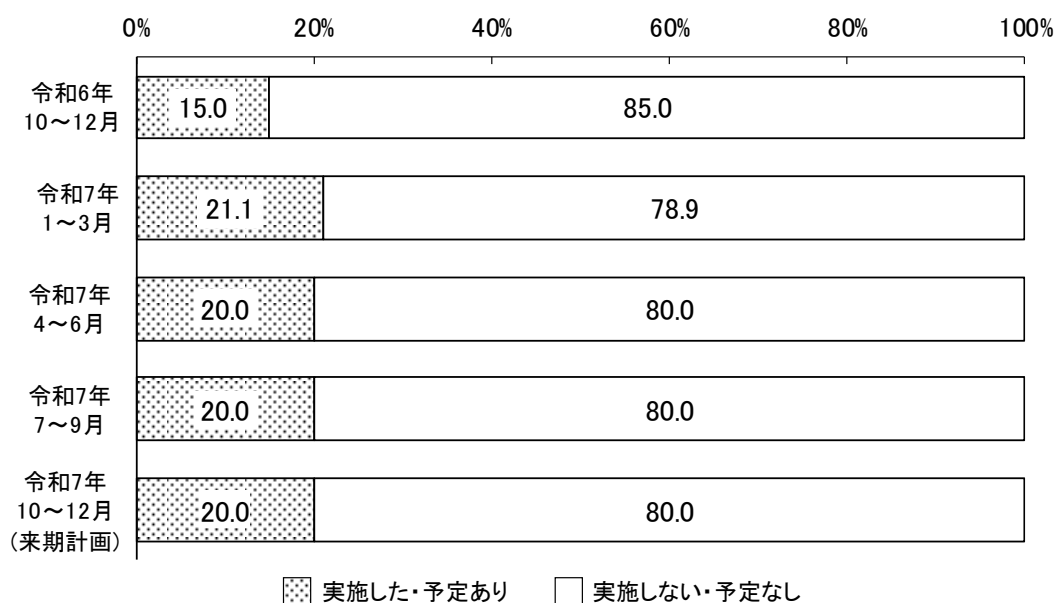
江東区と全都の卸売業・業況の動き（実績）と来期の予測



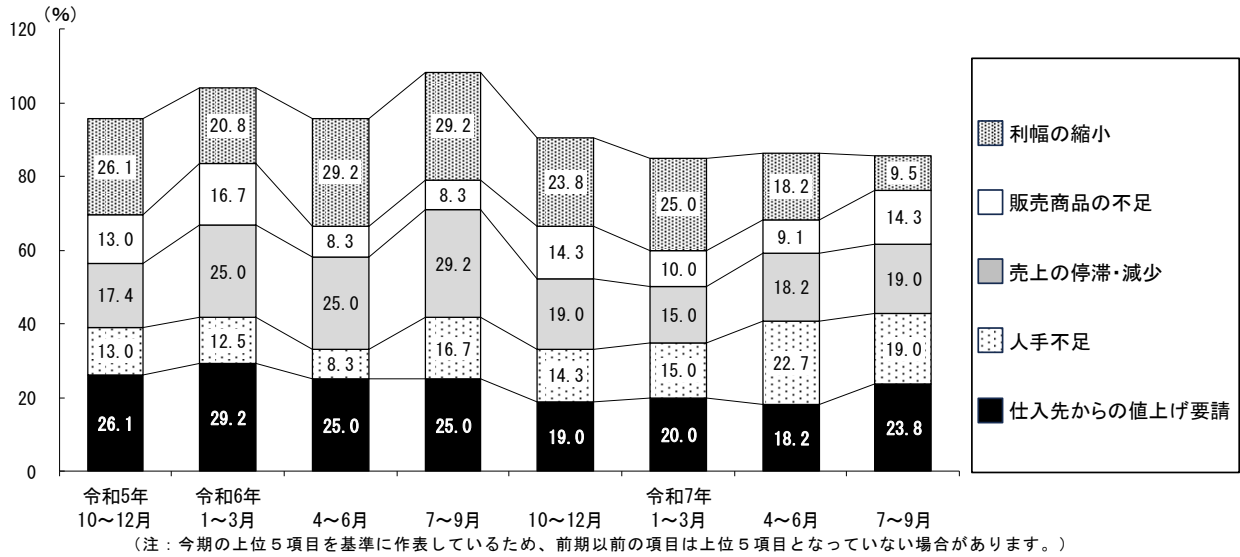
【卸売業】 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



【卸売業】 設備投資動向

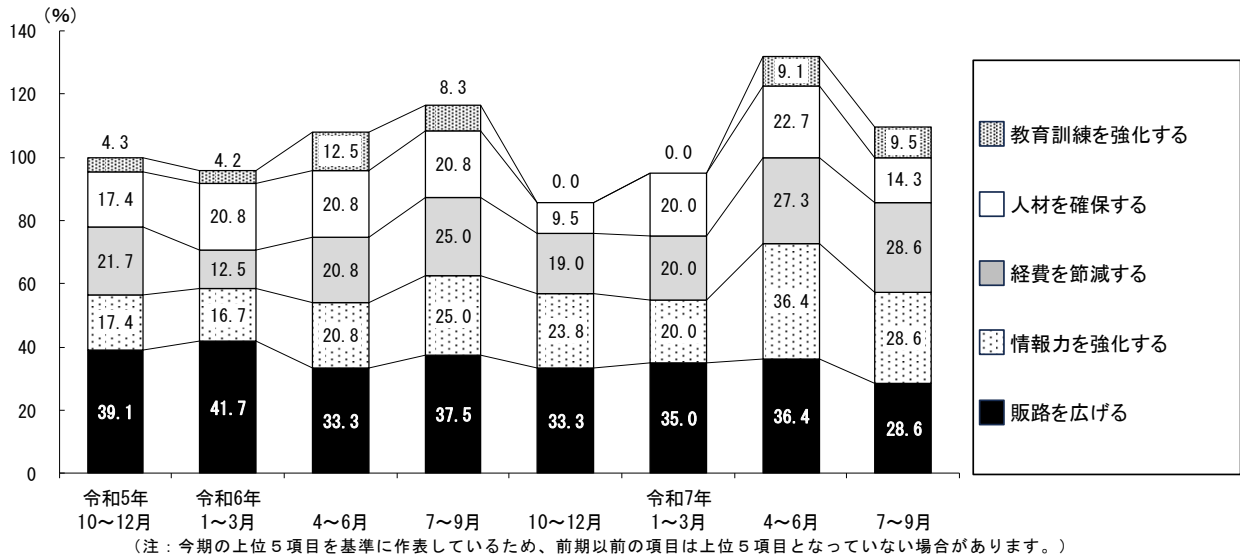


【卸売業】 経営上の問題（％）



令和6年10～12月期		令和7年1～3月期		令和7年4～6月期		令和7年7～9月期	
利幅の縮小	23.8%	利幅の縮小	25.0%	人手不足	22.7%	仕入先からの値上げ要請	23.8%
売上の停滞・減少 同業者間の競争の激化 仕入先からの値上げ要請	19.0%	仕入先からの値上げ要請	20.0%	利幅の縮小 仕入先からの値上げ要請 売上の停滞・減少	18.2%	人手不足 売上の停滞・減少	19.0%
		同業者間の競争の激化 人手不足 売上の停滞・減少	15.0%			販売商品の不足	14.3%
人手不足 販売商品の不足	14.3%				同業者間の競争の激化 人件費の増加	13.6%	利幅の縮小 同業者間の競争の激化 為替レートの変動

【卸売業】 重点経営施策（％）



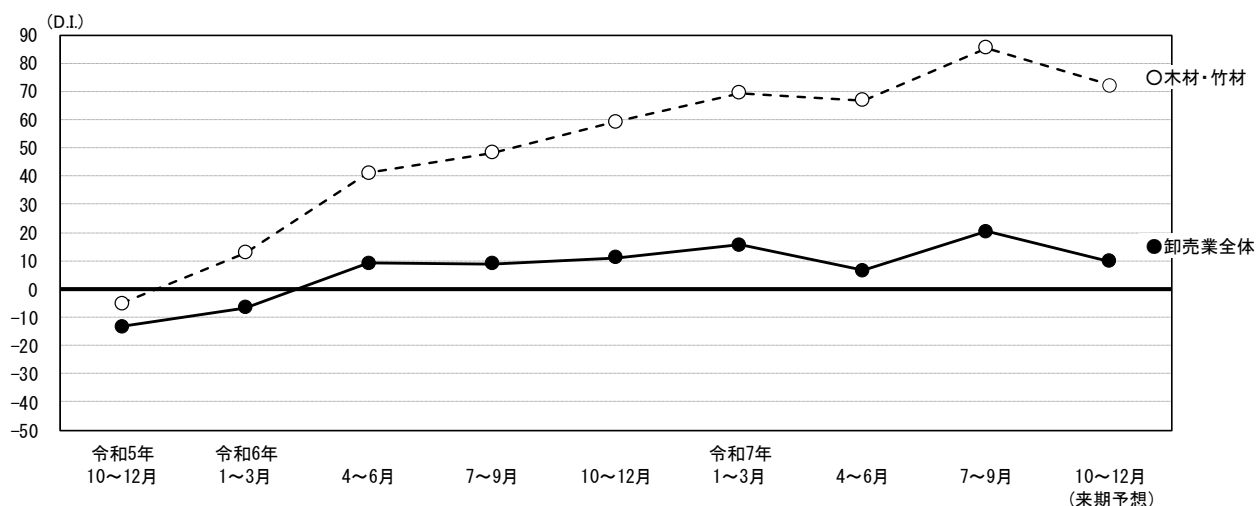
令和6年10～12月期		令和7年1～3月期		令和7年4～6月期		令和7年7～9月期	
販路を広げる	33.3%	販路を広げる	35.0%	販路を広げる	36.4%	販路を広げる	28.6%
情報力を強化する	23.8%	人材を確保する 情報力を強化する 経費を節減する	20.0%	情報力を強化する	27.3%	情報力を強化する 経費を節減する	14.3%
経費を節減する	19.0%			経費を節減する	22.7%	人材を確保する	
品揃えを充実する 人材を確保する 流通経路の見直しをする	9.5%	流通経路の見直しをする	15.0%	人材を確保する	9.1%	教育訓練を強化する	9.5%

卸売業 業種別動向

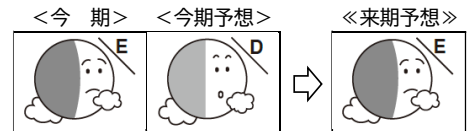
■ 木材、竹材

業況（前期66.7→今期85.4）は大幅に前期を上回った。売上額（49.5→66.7）は極端に増加し、収益（54.8→57.9）は若干の増益となった。価格については、販売価格（27.9→32.5）は幾分上昇したが、仕入価格（60.6→87.1）は非常に大きく上昇した。在庫数量（30.2→34.4）はやや過剰感が強まり、資金繰り（22.9→27.1）はわずかに苦しさが増した。

業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



小 売 業



売上・収益の動向と業況判断

業況は前期△27.7 から今期△26.6 と前期並となった。売上額は前期△18.9 から今期△21.4 とやや減少し、収益は前期△26.3 から今期△27.8 と横這いで推移した。

価格・在庫動向

販売価格は前期 8.2 から今期 6.4 とほぼ変化なく、仕入価格は前期 27.2 から今期 24.7 とわずかに下降した。在庫数量は前期△5.0 から今期△1.5 と幾分不足感が改善して適正水準となった。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは前期△11.0 から今期△9.6 とほぼ横這いとなり、借入難易度も前期△9.1 から今期△10.3 と前期並となった。今期借入をした・または予定ありの企業は 5.7%で、前期の 2.7%より 3.0 ポイント増加し、設備投資を実施した・または予定ありの企業は3.0%で、前期の 0.0%から 3.0 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

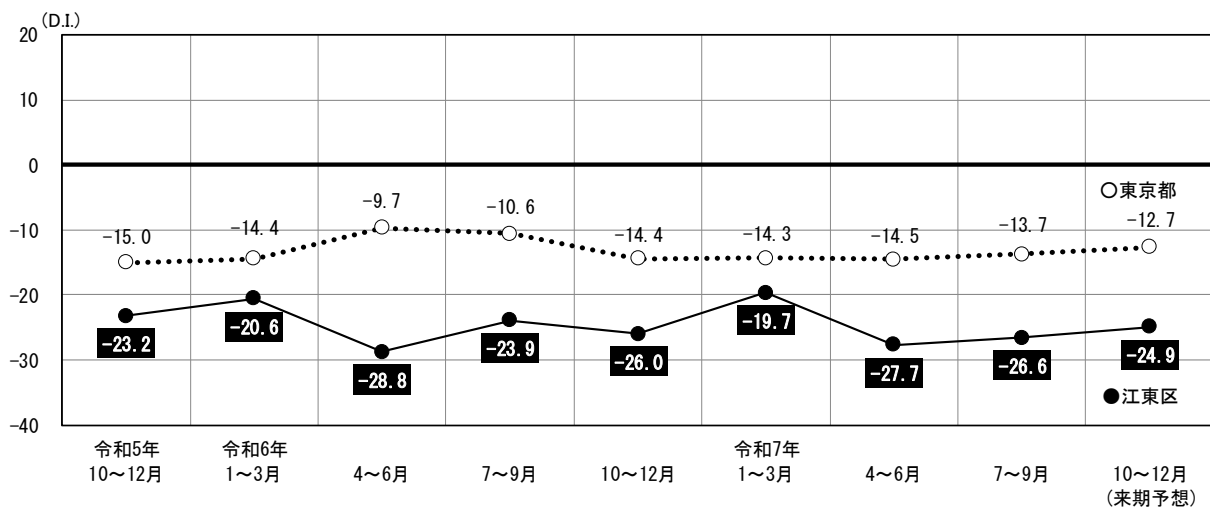
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」が 34.3%で最多となり、次いで「仕入先からの値上げ要請」、「利幅の縮小」が 17.1%、「同業者間の競争の激化」、「大型店との競争の激化」が 11.4%と続いた。

重点経営施策は、「経費を節減する」が 31.4%で今期も最多となり、次いで「宣伝・広告を強化する」が 14.3%、「売れ筋商品を取り扱う」、「品揃えを改善する」が 11.4%となった。

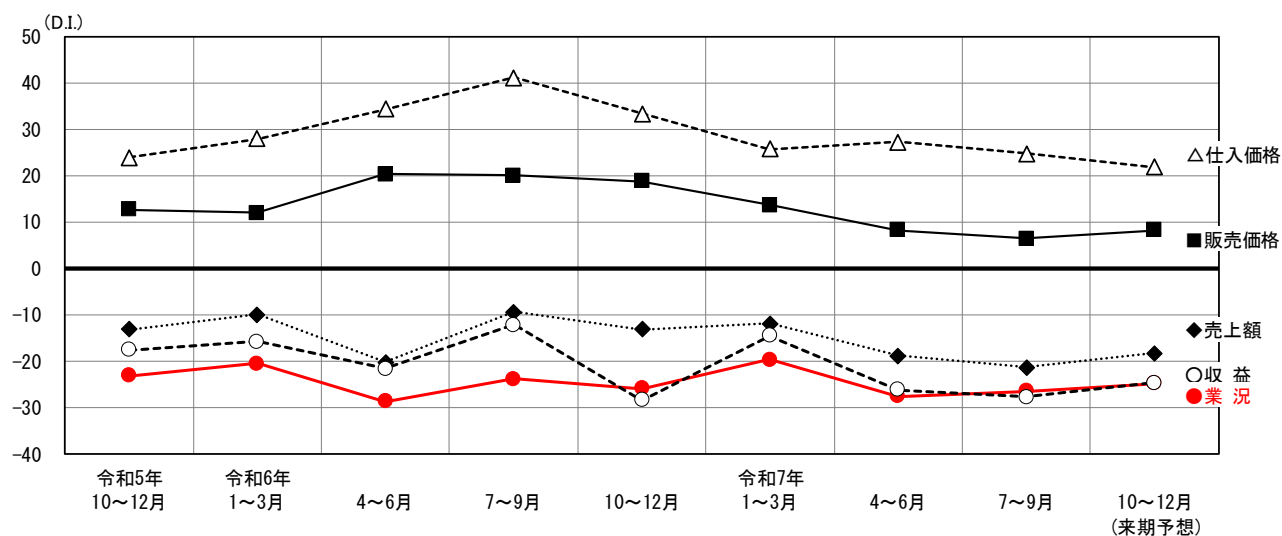
来 期 の 見 通 し

来期の見通しは、業況（△24.9予想）は今期並で推移すると予想している。売上額（△18.4予想）はやや持ち直し、収益（△24.8予想）は多少増益になると見込まれている。販売価格（8.2予想）はほぼ横這いとなり、仕入価格（21.7予想）はわずかに下降すると予想している。

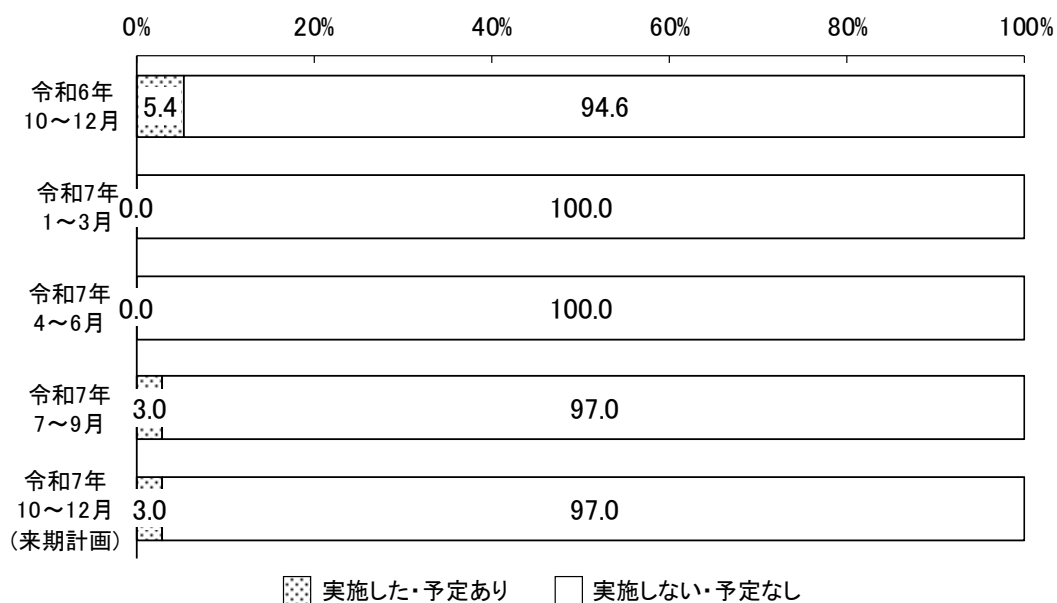
江東区と全都の小売業・業況の動き（実績）と来期の予測



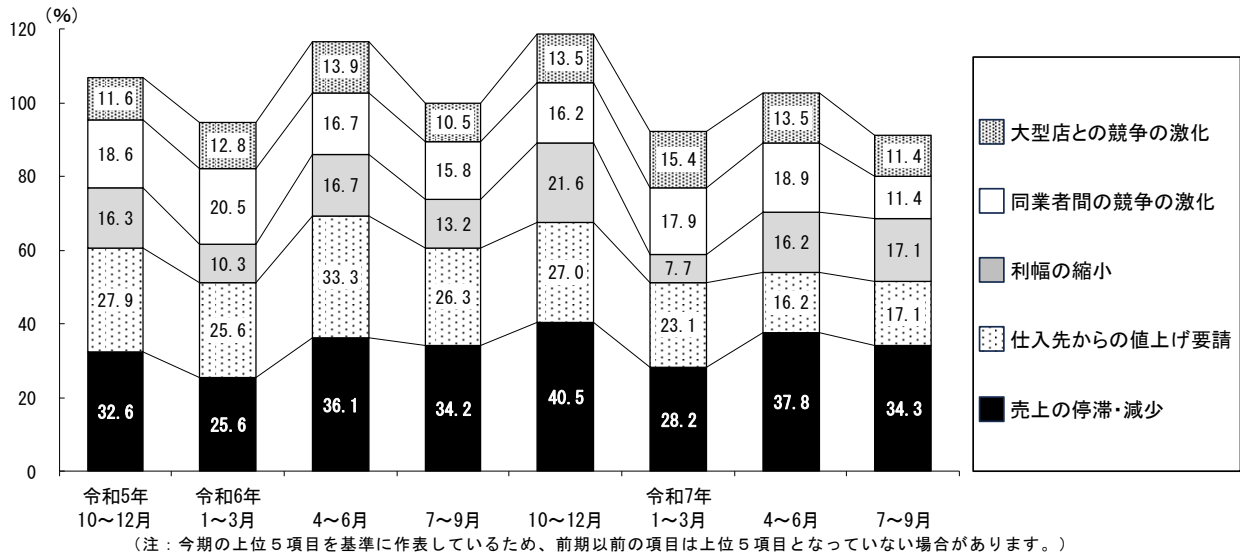
【小売業】 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



【小売業】 設備投資動向

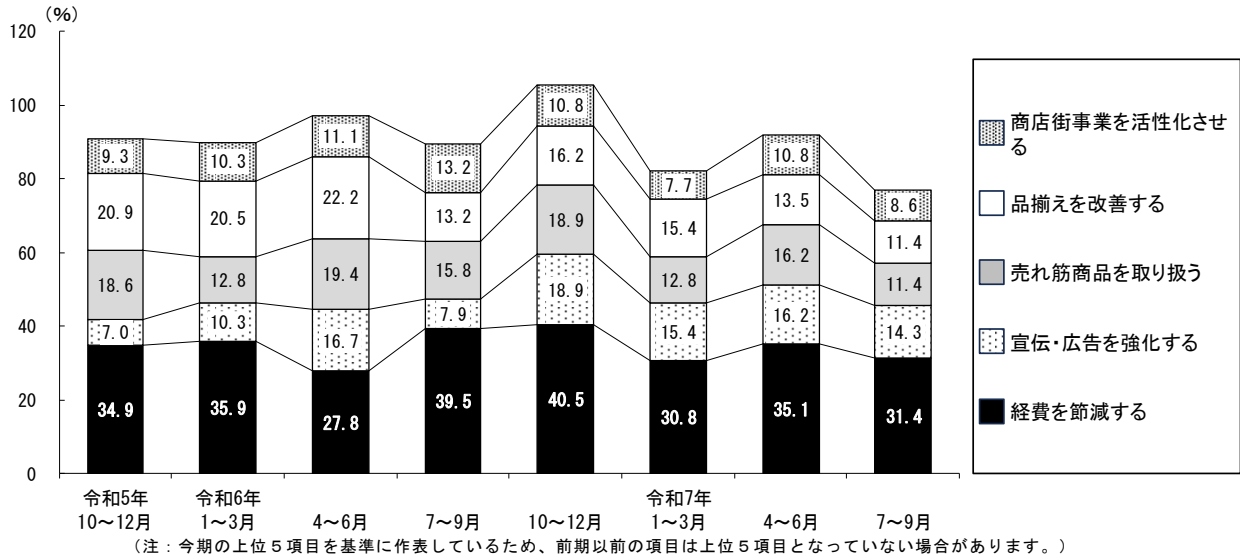


【小売業】 経営上の問題（％）



令和6年10～12月期		令和7年1～3月期		令和7年4～6月期		令和7年7～9月期	
売上停滞・減少	40.5%	売上停滞・減少	28.2%	売上停滞・減少	37.8%	売上停滞・減少	34.3%
仕入先からの値上げ要請	27.0%	仕入先からの値上げ要請	23.1%	同業者間の競争の激化	18.9%	仕入先からの値上げ要請	17.1%
利幅の縮小	21.6%	同業者間の競争の激化	17.9%	仕入先からの値上げ要請	16.2%	利幅の縮小	17.1%
同業者間の競争の激化	16.2%	大型店との競争の激化	15.4%	利幅の縮小	16.2%	同業者間の競争の激化	11.4%
大型店との競争の激化	13.5%	商店街の集客力の低下 人手不足 利幅の縮小 人件費の増加	7.7%	大型店との競争の激化	13.5%	大型店との競争の激化	11.4%

【小売業】 重点経営施策（％）



令和6年10～12月期		令和7年1～3月期		令和7年4～6月期		令和7年7～9月期	
経費を節減する	40.5%	経費を節減する	30.8%	経費を節減する	35.1%	経費を節減する	31.4%
宣伝・広告を強化する	18.9%	宣伝・広告を強化する	15.4%	宣伝・広告を強化する	16.2%	宣伝・広告を強化する	14.3%
売れ筋商品を取り扱う	16.2%	品揃えを改善する	12.8%	売れ筋商品を取り扱う	13.5%	売れ筋商品を取り扱う	11.4%
品揃えを改善する	16.2%	売れ筋商品を取り扱う	12.8%	品揃えを改善する	13.5%	品揃えを改善する	11.4%
仕入先を開拓・選別する	10.8%	商店街事業を活性化させる	7.7%	商店街事業を活性化させる	10.8%	商店街事業を活性化させる	8.6%
商店街事業を活性化させる	10.8%	商店街事業を活性化させる	7.7%	商店街事業を活性化させる	10.8%	商店街事業を活性化させる	8.6%

小売業 業種別動向

■ 衣類、呉服、身の回り品

業況（前期 $\Delta 39.4 \rightarrow$ 今期 $\Delta 48.0$ ）は前期からかなり低調感を強めた。売上額（ $\Delta 22.7 \rightarrow \Delta 46.6$ ）は非常に大きく減少し、収益（ $\Delta 38.2 \rightarrow \Delta 71.2$ ）は極端に減益となった。販売価格（ $\Delta 2.6 \rightarrow \Delta 4.6$ ）は若干下降し、仕入価格（ $48.1 \rightarrow 56.7$ ）は大幅に上昇した。在庫数量（ $4.3 \rightarrow \Delta 7.2$ ）は大きく不足へと転じ、資金繰り（ $\Delta 0.9 \rightarrow \Delta 5.4$ ）はやや窮屈感が強まった。

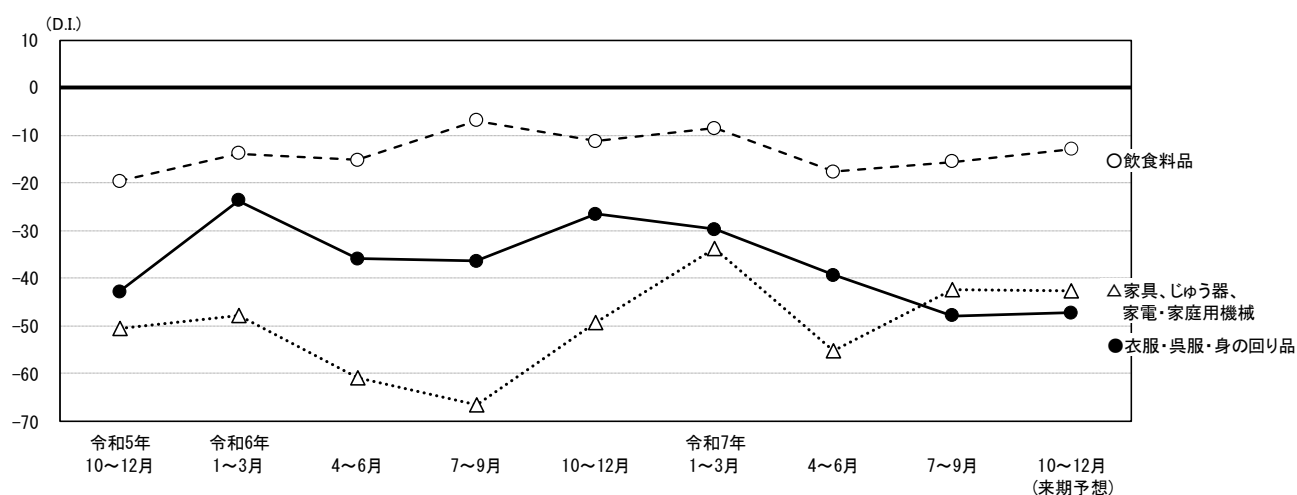
■ 飲食料品

業況（前期 $\Delta 17.7 \rightarrow$ 今期 $\Delta 15.6$ ）はわずかに改善した。売上額（ $\Delta 17.7 \rightarrow \Delta 12.3$ ）は大きく増加し、収益（ $\Delta 25.7 \rightarrow \Delta 17.7$ ）は大幅に増益となった。販売価格（ $13.2 \rightarrow 13.2$ ）は前期と変化なく、仕入価格（ $21.4 \rightarrow 19.0$ ）はやや下降した。在庫数量（ $\Delta 6.4 \rightarrow \Delta 0.2$ ）は大幅に品薄感が改善し適正水準となり、資金繰り（ $\Delta 17.5 \rightarrow \Delta 10.8$ ）は大幅に容易さが増した。

■ 家具、じゅう器、家電・家庭用機械

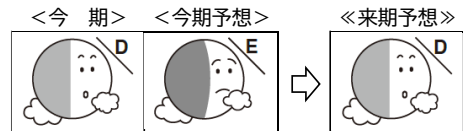
業況（前期 $\Delta 55.3 \rightarrow$ 今期 $\Delta 42.4$ ）は大幅に悪化幅が縮小した。売上額（ $\Delta 32.5 \rightarrow \Delta 32.7$ ）と収益（ $\Delta 34.8 \rightarrow \Delta 34.7$ ）は前期並の水準で推移した。販売価格（ $16.6 \rightarrow 10.3$ ）は大きく下降し、仕入価格（ $54.3 \rightarrow 30.2$ ）は非常に大きく下降した。在庫数量（ $\Delta 1.7 \rightarrow \Delta 5.6$ ）はやや品薄感が強まり、資金繰り（ $\Delta 4.7 \rightarrow \Delta 4.3$ ）はほぼ横這いとなった。

業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



サービス業

売上・収益の動向と業況判断



業況は前期△20.7 から今期△9.0 と大幅に上向いた。売上額は前期△18.0 から今期△4.2と大きく増加し、収益は前期△16.1 から今期△8.5とかなり増益となった。

価格動向

料金価格は前期 8.8 から今期 6.4 と若干下降し、材料価格は前期 26.0 から今期 13.5 と大幅に下降した。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは前期△2.2 から今期△6.3 とやや苦しさが強まった。借入難易度は前期△15.4 から今期△13.7 と前期並の苦しさとなった。今期借入をした・または予定ありの企業は 3.6%で、前期の 3.3%より 0.3 ポイント増加し、設備投資を実施した・または予定ありの企業は 10.3%で、前期の 10.0%より 0.3 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

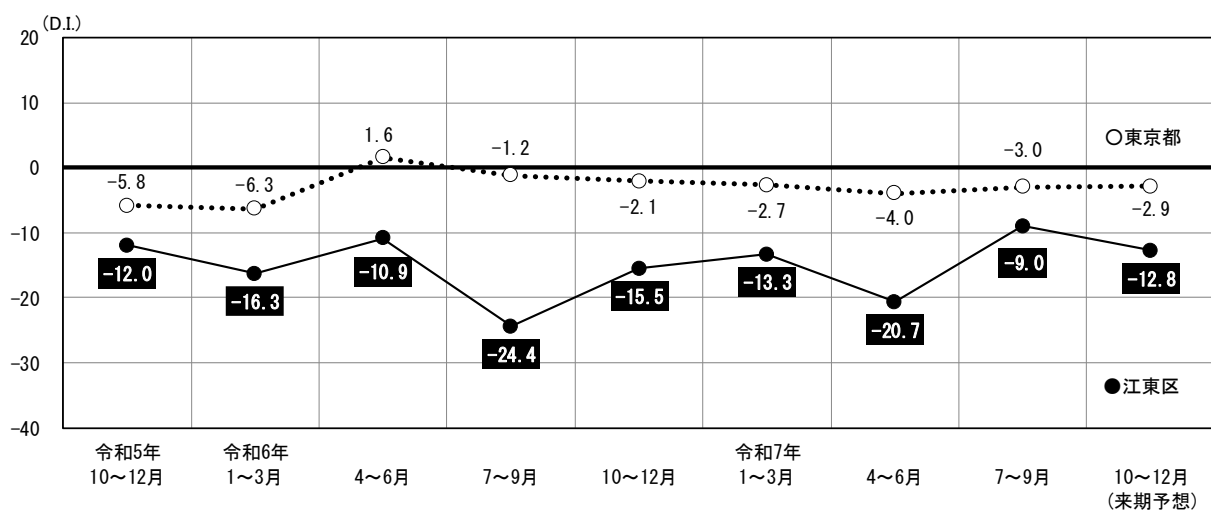
経営上の問題点は、「同業者間の競争の激化」が 34.5%で最多となり、次いで「材料価格の上昇」、「売上の停滞・減少」（17.2%）、「利幅の縮小」、「大企業との競争の激化」、「店舗・設備の狭小・老朽化」（6.9%）となった。

重点経営施策は、「経費を節減する」が41.4%で最多となり、次いで「販路を広げる」（27.6%）、「宣伝・広告を強化する」（10.3%）と続いた。

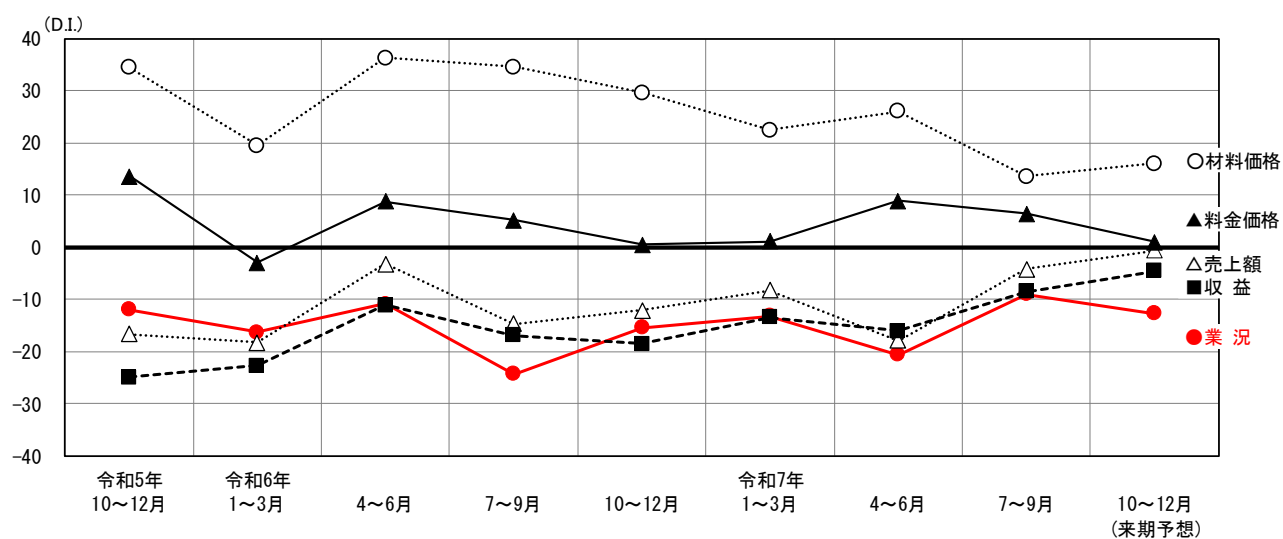
来期の見通し

来期の見通しは、業況（△12.8予想）はやや悪化傾向が強まると予想している。売上額（△0.7予想）は幾分増加し、収益（△4.6予想）はわずかに増益になると見込まれている。料金価格（0.9予想）はかなり下降し、材料価格（16.0予想）は若干上昇と予想している。

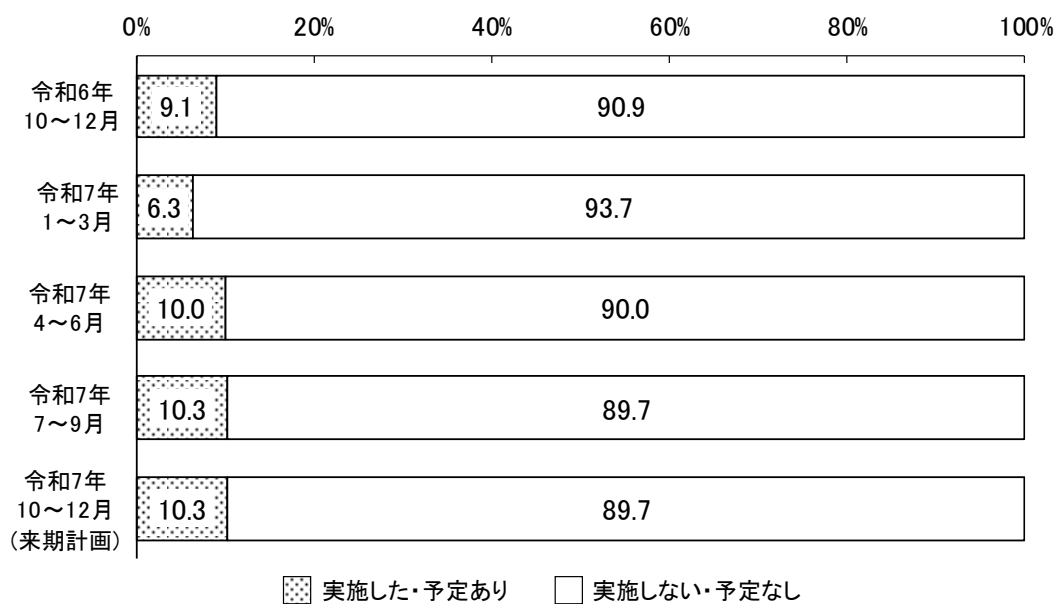
江東区と全都のサービス・業況の動き（実績）と来期の予測



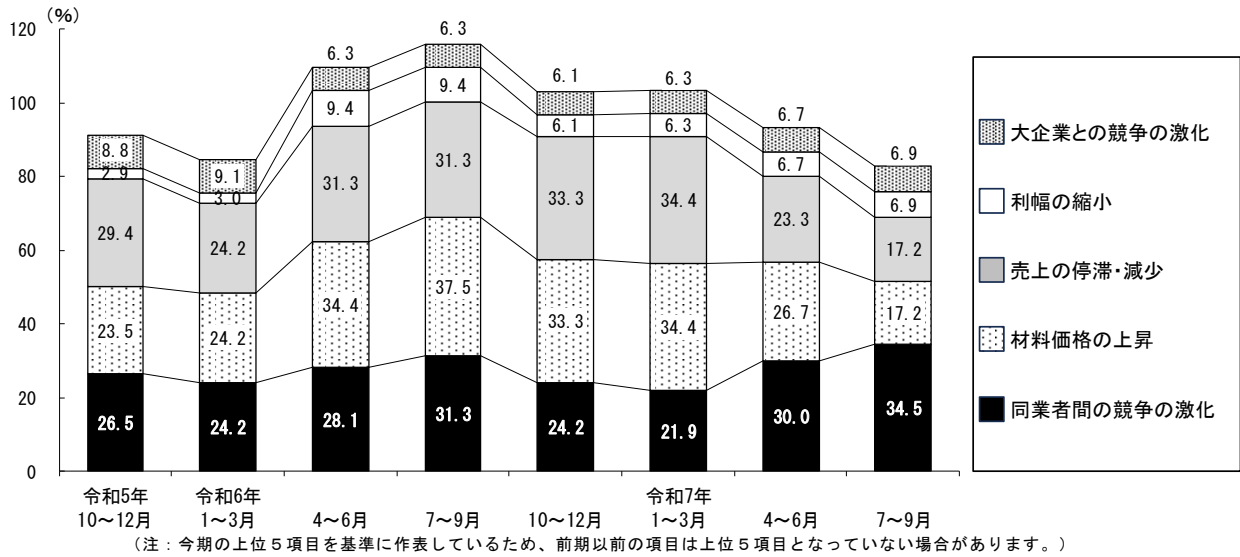
【サービス業】 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



【サービス業】 設備投資動向

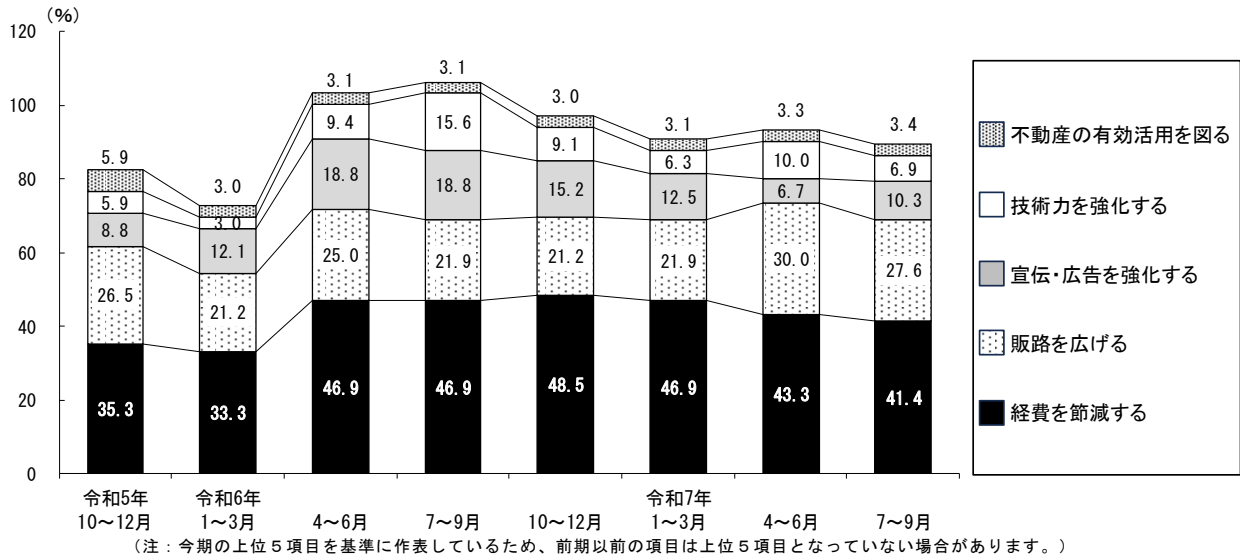


【サービス業】 経営上の問題（％）



令和6年10～12月期		令和7年1～3月期		令和7年4～6月期		令和7年7～9月期	
材料価格の上昇 売上の停滞・減少	33.3%	材料価格の上昇 売上の停滞・減少	34.4%	同業者間の競争の激化	30.0%	同業者間の競争の激化	34.5%
同業者間の競争の激化	24.2%	同業者間の競争の激化	21.9%	材料価格の上昇	26.7%	材料価格の上昇 売上の停滞・減少	17.2%
人件費の増加	9.1%	人件費の増加		売上の停滞・減少	23.3%		
利幅の縮小 大企業との競争の激化	6.1%	利幅の縮小 大企業との競争の激化	6.3%	人件費の増加	10.0%	利幅の縮小 大企業との競争の激化 店舗・設備の狭小・老朽化	6.9%

【サービス業】 重点経営施策（％）



令和6年10～12月期		令和7年1～3月期		令和7年4～6月期		令和7年7～9月期	
経費を節減する	48.5%	経費を節減する	46.9%	経費を節減する	43.3%	経費を節減する	41.4%
販路を広げる	21.2%	販路を広げる	21.9%	販路を広げる	21.9%	販路を広げる	27.6%
宣伝・広告を強化する	15.2%	宣伝・広告を強化する	12.5%	技術力を強化する	10.0%	宣伝・広告を強化する	10.3%
技術力を強化する	9.1%	技術力を強化する	6.3%	宣伝・広告を強化する 人材を確保する	6.7%	技術力を強化する	6.9%
不動産の有効活用を図る 店舗・設備を改装する 新しい事業を始める 人材を確保する	3.0%	不動産の有効活用を図る 新しい事業を始める	3.1%			不動産の有効活用を図る 新しい事業を始める 店舗・設備を改装する	3.4%

日銀短観

【調査対象企業数】

	製造業	非製造業	合計	回答率
全 国 企 業	3,696社	5,174社	8,870社	99.4%
うち大企業	910社	804社	1,714社	99.1%
中堅企業	1,036社	1,506社	2,542社	99.3%
中小企業	1,750社	2,864社	4,614社	99.5%

<回答期間> 令和7年8月27日～9月30日

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート (全規模・全産業)

		2024年度			2025年度		
		上期		下期	上期		下期
米ドル円 (円/ドル)	2025年 6月調査	148.44	148.31	148.57	145.72	145.87	145.56
	2025年 9月調査	—	—	—	145.68	145.94	145.41
ユーロ円 (円/1-0)	2025年 6月調査	160.18	160.76	159.61	157.79	157.89	157.68
	2025年 9月調査	—	—	—	160.65	160.66	160.65

【売上高】

(前年度比・%)

		2024年度		2025年度	
		修正率		(計画)	修正率
大 企 業	製 造 業	3.0	—	1.5	-0.2
	国 内	2.3	—	1.9	-0.3
	輸 出	4.4	—	0.6	0.1
	非 製 造 業	3.9	—	1.7	-0.2
	全 産 業	3.5	—	1.6	-0.2
中 堅 企 業	製 造 業	3.5	—	1.9	0.6
	非 製 造 業	4.2	—	3.6	1.0
	全 産 業	4.0	—	3.2	0.9
中 小 企 業	製 造 業	3.8	—	1.4	1.0
	非 製 造 業	4.0	—	0.2	0.5
	全 産 業	4.0	—	0.4	0.6
全規模合計	製 造 業	3.3	—	1.5	0.2
	非 製 造 業	4.0	—	1.7	0.3
	全 産 業	3.8	—	1.7	0.3

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比。

【業況判断】

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

		2025年6月調査		2025年9月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大 企 業							
製 造 業	13	12	14	1	12	-2	
非 製 造 業	34	27	34	0	28	-6	
全 産 業	23	20	24	1	21	-3	
中 堅 企 業							
製 造 業	10	6	12	2	8	-4	
非 製 造 業	25	17	24	-1	18	-6	
全 産 業	19	12	19	0	14	-5	
中 小 企 業							
製 造 業	1	-2	1	0	-1	-2	
非 製 造 業	15	9	14	-1	10	-4	
全 産 業	10	5	9	-1	5	-4	
全 規 模 合 計							
製 造 業	7	4	7	0	5	-2	
非 製 造 業	21	15	21	0	15	-6	
全 産 業	15	9	15	0	10	-5	

(注) 判断項目において、「最近」は回答時点を、「先行き」は3か月後を示す。「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。

【需給・在庫・価格判断】

(%ポイント)

		2025年6月調査		2025年9月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
中小企業							
国内での製商品・サービス 需給判断 (「需要超過」- 「供給超過」)	製 造 業	-18	-19	-18	0	-18	0
	うち素材業種	-21	-23	-23	-2	-23	0
	加工業種	-16	-16	-14	2	-15	-1
	非 製 造 業	-9	-10	-9	0	-9	0
海外での製商品 需給判断 (「需要超過」- 「供給超過」)	製 造 業	-16	-16	-15	1	-15	0
	うち素材業種	-23	-25	-21	2	-21	0
	加工業種	-12	-11	-10	2	-10	0
製商品在庫 水準判断 (「過大」-「不足」)	製 造 業	14		14	0		
	うち素材業種	16		17	1		
	加工業種	12		12	0		
製商品流通 在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製 造 業	14		13	-1		
	うち素材業種	18		18	0		
	加工業種	13		10	-3		
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製 造 業	27	31	25	-2	31	6
	うち素材業種	25	29	22	-3	29	7
	加工業種	29	33	27	-2	33	6
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製 造 業	54	56	52	-2	56	4
	うち素材業種	45	49	44	-1	50	6
	加工業種	61	61	58	-3	61	3
非 製 造 業	製 造 業	54	56	52	-2	57	5

日銀短観は、全国に企業動向を的確に把握し、金融政策の適切な運営に資することを統計上の目的としており、日本銀行金融政策当局が業況等の現状・先行きに関する判断(判断項目)や、事業計画に関する実績・予測(計数項目)など、企業活動全般に関する調査項目について全国の調査対象企業に四半期ごとに実施する統計調査である。サンプル数が多く、回収率も高いことから、数多くある経済指標の中でも注目度の高い統計である。(出典：日本銀行HP)

特別調査「不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営について」 （2025年9月上旬調査）

注1. 以下に示す割合は区内の中小企業(全6業種＝211事業所)の回答を集計したものであるが、業種別の分析については回答企業数の少ない「建設業」(5社)と「不動産業」(8社)は除外して行っています。

注2. 回答割合は小数点第2位を四捨五入して表記しているため、単数回答での割合の合計が100.0%にならないことがあります。

注3. 複数の選択肢を合わせた『計』の割合は、各選択肢の合計実数値で再計算しているため、グラフに表記された値の単純合計値とは異なる場合があります。

本調査結果の特徴	① 米国経済社会政策(関税等)による売上への影響	【これまでの売上】 『悪い影響があった』14.1%「むしろ良い影響があった」0.0% 「特に影響がなかった」55.7%「わからない」30.2% 【今後の売上】 『悪い影響があると予想する』17.7%「むしろ良い影響があると予想する」1.0% 「特に影響がないと予想する」40.1%「わからない」34.4%
	② 中国経済減速による間接的事象も含めた影響	「原材料・部品・商品等の調達難」12.5%「中国からの輸入コストの上昇」7.8% 「中国製品との価格競争の激化」、「為替変動による収益の悪化」5.2%
	③ 望ましい外国為替相場(主に円ドル相場)の水準、物価上昇による経営への影響	※調査期間の外国為替相場:1ドル146.51円～150.80で推移 【望ましい外国為替相場の水準】 「現状より円高傾向が望ましい」18.8%「現状より円安傾向が望ましい」1.6% 【物価上昇による経営への影響】 「悪い影響をもたらしている」28.1%「良い影響をもたらしている」1.0%
	④ 不透明感が増す経済社会情勢を受けて見直したい取組	「コスト削減」27.1%「既存顧客との関係強化」20.8% 「新規顧客の開拓」15.6%「資金繰りの見直し」8.3%
	⑤ 不透明感が増す経済社会情勢を受けて地域金融機関に望むこと	「要望に対する迅速な対応」31.4% 「担当者の頻繁な人事異動がないこと」14.7% 「金融機関本部専任者・外部専門家による支援」10.5%

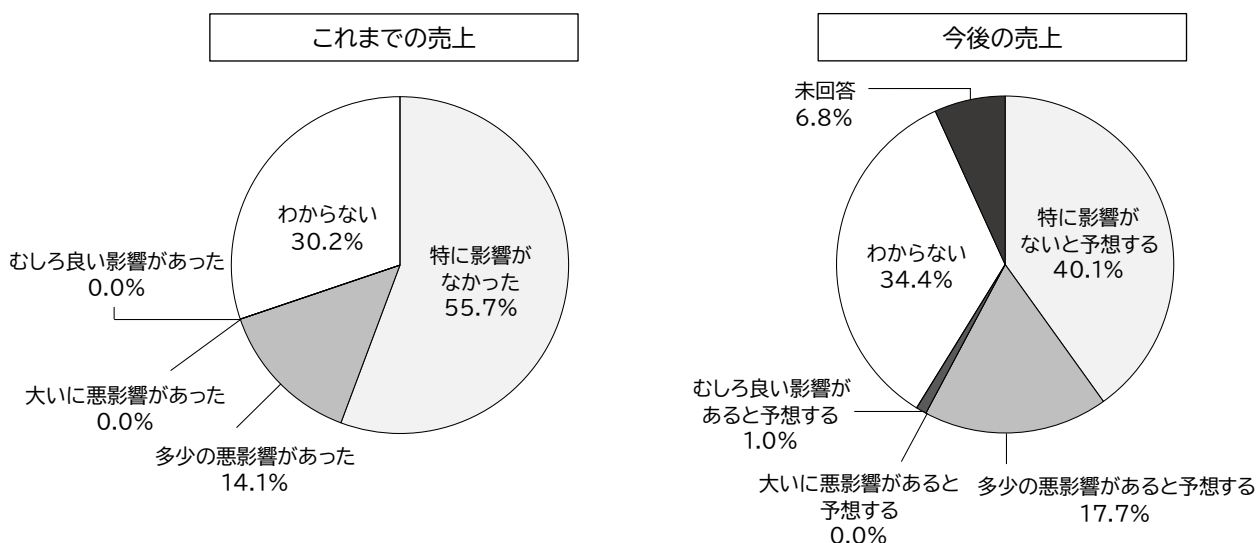
① 米国経済社会政策(関税等)による売上への影響

区内の中小企業を対象に、トランプ大統領就任後、米国の経済社会政策(関税等)により不透明感が増している経済情勢において、自社のこれまでの売上への影響および今後の売上への影響について伺った。

その結果、これまでの売上について、「大いに悪影響があった」(0.0%)と「多少の悪影響があった」(14.1%)を合わせた『悪い影響があった』との回答が全体の14.1%であった。反対に「むしろ良い影響があった」が0.0%となった。その他、「特に影響がなかった」が55.7%、「わからない」との回答が30.2%であった。

一方、今後の売上については、「大いに悪影響があると予想する」(0.0%)と「多少の悪影響があると予想する」(17.7%)を合わせた『悪い影響があると予想する』との回答が17.7%であったのに対し、「むしろ良い影響があると予想する」の回答が1.0%であった。その他、「特に影響がないと予想する」が40.1%、「わからない」が34.4%となった。

図表1 米国経済社会政策(関税等)による売上への影響



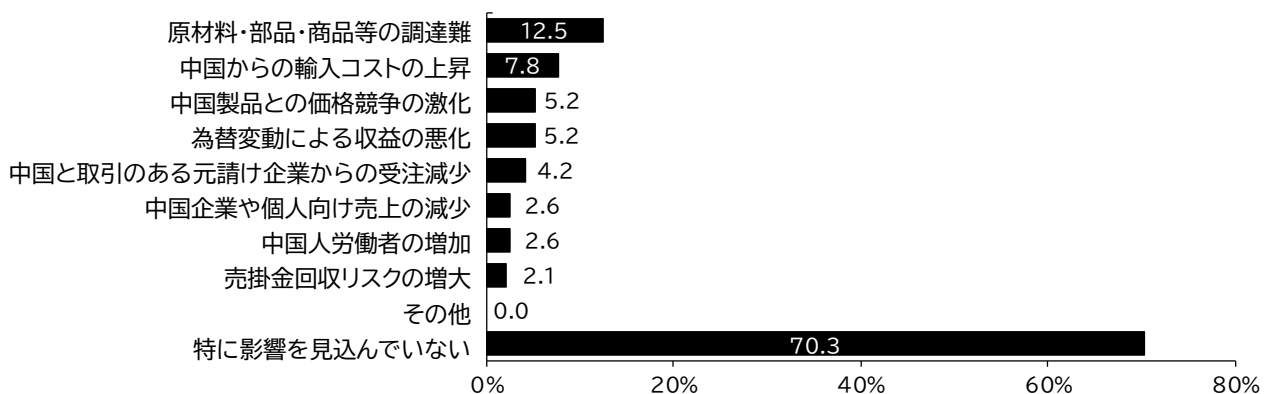
② 中国経済減速による間接的事象も含めた影響

次に、昨今、中国経済の減速が懸念されている中、間接的な事象も含めた自社への影響見込みを伺った（最大3つまで）。

その結果、「特に影響を見込んでいない」との回答が70.3%と全体の約7割以上を占めた。次いで回答割合が高い順に「原材料・部品・商品等の調達難」（12.5%）、「中国からの輸入コストの上昇」（7.8%）、「中国製品との価格競争の激化」、「為替変動による収益の悪化」（5.2%）の順となった。

業種別では、「原材料・部品・商品等の調達難」と回答したうち、製造業、サービス業がそれぞれ14.4%、13.8%であり、「中国からの輸入コストの上昇」では卸売業が30.0%と最も高かった。

図表2 中国経済減速による間接的事象も含めた影響



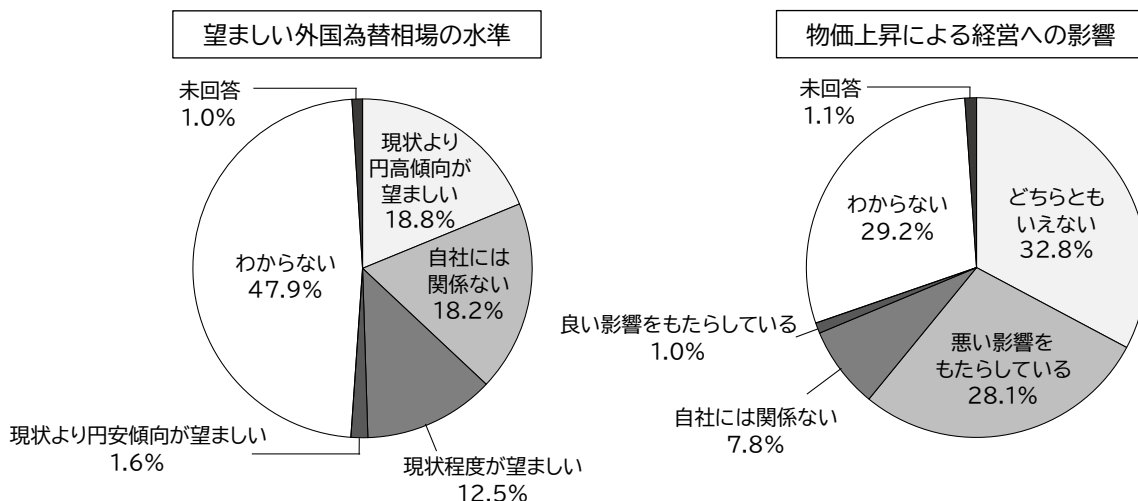
③ 望ましい外国為替相場(主に円ドル相場)の水準、物価上昇による経営への影響

更に、今後の外国為替相場(主に円ドル相場)の自社にとって望ましい水準について、および、コロナ禍以降の物価上昇傾向が自社の経営に与える影響について伺った。※調査期間の為替相場:1ドル146.51円～150.80円で推移

その結果、為替相場について、「現状より円高傾向が望ましい」が18.8%であった。反対に「現状より円安傾向が望ましい」が1.6%であった。その他、「自社には関係ない」(18.2%)、「現状程度が望ましい」(12.5%)、「わからない」(47.9%)であった。

一方、物価上昇については、「悪い影響をもたらしている」が28.1%であったのに対し、「良い影響をもたらしている」はわずか1.0%であった。その他、「どちらともいえない」(32.8%)、「自社には関係ない」(7.8%)、「わからない」(29.2%)であった。

図表3 望ましい外国為替相場の水準、物価上昇による経営への影響



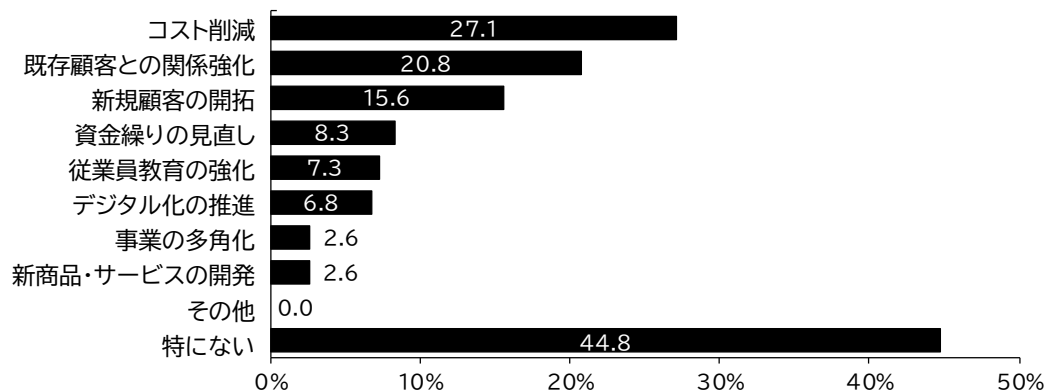
④ 不透明感が増す経済社会情勢を受けて見直したい取組

加えて、不透明感が増す経済社会情勢を受けて、今後、経営面で見直したい取組について伺った(最大3つまで)。

その結果、「コスト削減」が最も多い27.1%となり、次いで「既存顧客との関係強化」(20.8%)、「新規顧客の開拓」(15.6%)が上位を占め、半数以上の企業において見直しを検討している結果となった。

業種別では、「コスト削減」と回答したうち、サービス業、製造業がそれぞれ31.0%、30.9%であり、「既存顧客との関係強化」では製造業、卸売業がそれぞれ27.8%、25.0%、「新規顧客の開拓」では卸売業が25.0%と高い回答割合であった。

図表4 不透明感が増す経済社会情勢を受けて見直したい取組



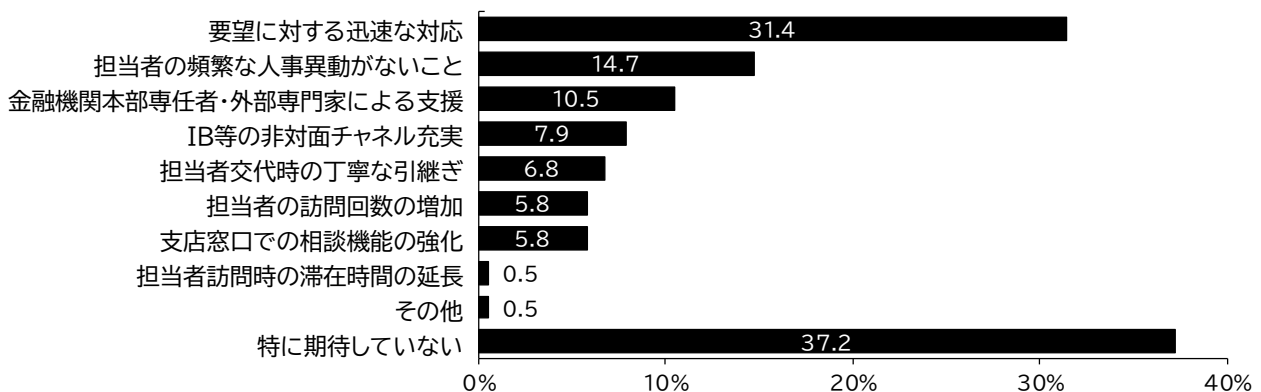
⑤ 不透明感が増す経済社会情勢を受けて地域金融機関に望むこと

最後に、不透明感が増す経済社会情勢を受けて、地域金融機関の体制面で望むことについて伺った(最大3つまで)。

その結果、「要望に対する迅速な対応」が31.4%と最も多く、次いで「担当者の頻繁な人事異動がないこと」(14.7%)、「金融機関本部専任者・外部専門家による支援」(10.5%)、「IB等の非対面チャネル充実」(7.9%)が上位を占めた。

業種別では、製造業において「担当者の頻繁な人事異動がないこと」が17.5%と最も多く、卸売業において「要望に対する迅速な対応」が47.4%、「金融機関本部専任者・外部専門家による支援」と「担当者の頻繁な人事異動がないこと」が15.8%と高い割合であった。

図表5 不透明感が増す経済社会情勢を受けて地域金融機関に望むこと



中小企業景況調査 比較表

令和7年7月～9月期

製造業

【今期の景況】

		全 体		木材・木製品		繊維工業、衣服・ その他繊維製品		一般機械器具、 金型		金属製品、 建設用金属製品		出版、印刷、 製版、製本業	
		江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都
業 況		-16	-10	-49	-29	-33	-18	-28	-15	-12	-12	-30	-18
売 上 額		-6	-4	-35	-22	-46	-19	-3	-6	3	-4	-16	-8
受 注 残		-4	-5	-21	-26	-46	-14	-6	-10	10	-3	-15	-12
収 益		-6	-8	-26	-19	-46	-26	-26	-12	1	-9	-11	-12
販売価格		7	20	-13	24	-46	14	-23	15	10	14	7	15
原材料価格		20	41	-6	49	-45	38	62	42	31	35	15	39
原材料在庫		-3	3	-5	4	-46	5	2	5	0	4	-2	2
資金繰り		-9	-10	-11	-28	-44	-6	-26	-12	-11	-10	-16	-12
雇用	残業時間	0	1	0	-11	0	3	0	-1	5	2	0	-5
	人 手	-4	-15	0	-25	0	-16	0	-10	5	-12	0	-10
同期比	売 上 額	0	4	0	-11	-50	1	0	0	5	5	-12	-5
	収 益	-7	-3	0	-11	-50	-9	0	-1	5	1	-24	-10
経営上の 問題点	① 原材料高	26	39	-	39	50	38	50	38	15	38	29	33
	② 売上の停滞・減少	21	33	50	39	50	34	-	39	10	34	59	44
	③ 同業者間の競争の激化	17	13	-	11	-	13	25	18	15	11	29	22
	④ 利幅の縮小	14	16	25	29	-	16	25	15	15	15	18	17
	⑤ 人手不足	11	11	25	18	-	13	25	13	10	9	12	8
重点経営 施策	① 販路を広げる	43	45	75	54	50	41	25	47	25	44	65	50
	② 経費を節減する	39	54	50	54	-	51	25	53	30	55	65	62
	③ 人材を確保する	13	11	25	4	-	9	25	11	5	11	24	18
	④ 情報力を強化する	8	18	25	25	-	25	25	17	-	15	6	13
	⑤ 機械化を推進する	6	4	-	7	-	4	-	3	10	2	12	5
借入の難易度		-8	-3	-33	-18	-50	2	25	-7	-6	0	-13	-8

【来期の景況見通し】

業 況		-12	-8	-39	-33	-29	-16	-30	-8	-10	-10	-13	-15
売 上 額		-2	-1	-12	-23	-49	-9	-4	1	-5	-4	-6	-7
受 注 残		-2	-3	-11	-21	-49	-10	-24	-4	2	-1	-4	-7
収 益		-4	-6	-10	-15	-49	-14	-47	-7	-7	-5	-3	-10
販売価格		9	18	-1	17	-46	17	-1	14	12	14	4	13
原材料価格		17	35	-2	43	-47	34	65	41	18	31	8	32
原材料在庫		-2	2	-1	4	-49	2	0	4	4	4	1	1
資金繰り		-5	-9	-4	-26	-46	-8	-26	-9	-10	-8	-4	-11
雇 用	残業時間	-1	0	0	-4	0	-4	0	0	0	3	0	-1
	人 手	-4	-15	0	-25	0	-16	0	-9	5	-13	0	-11

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

中小企業景況調査 比較表

令和7年7月～9月期

卸売業

【今期の景況】

		全 体		木材、竹材	
		江東区	全都	江東区	全都
業 況		20	-7	85	85
売上 額		11	3	67	67
収 益		-3	-3	58	58
販売価格		19	32	33	33
仕入価格		45	46	87	87
在 庫		9	7	34	34
資金繰り		6	-8	27	27
雇用	残業時間	-5	0	0	0
	人 手	-14	-16	0	0
同期比	売上 額	19	11	33	33
	収 益	14	1	67	67
	販売価格	33	36	33	33
経営上の問題点	① 人手不足	24	23	67	67
	② 仕入先からの値上げ要請	19	18	-	-
	③ 利幅の縮小	19	34	-	-
	④ 売上の停滞・減少	14	5	67	67
	⑤ 人件費の増加	10	9	33	33
重点経営施策	① 情報力を強化する	29	19	33	33
	② 販路を広げる	29	43	33	33
	③ 経費を節減する	29	58	-	-
	④ 人材を確保する	14	21	-	-
	⑤ 教育訓練を強化する	10	3	-	-
借入の難易度		-5	-2	0	0

小売業

【今期の景況】

		全 体		家具・じゅう器 家電・ 家庭用機械		飲料製品		衣服・呉服、 身の回り品	
		江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都
業 況		-27	-14	-42	-12	-16	-12	-48	-26
売上 額		-21	-5	-33	-6	-12	-1	-47	-16
収 益		-28	-12	-35	-6	-18	-13	-71	-20
販売価格		6	27	10	23	13	31	-5	20
仕入価格		25	41	30	32	19	45	57	38
在 庫		-2	2	-6	3	0	-1	-7	10
資金繰り		-10	-12	-4	-3	-11	-11	-5	-17
雇用	残業時間	0	-1	0	-3	0	-1	0	-2
	人 手	-3	-12	0	-8	0	-12	0	-13
同期比	売上 額	-23	2	-40	2	-7	7	-50	-16
	収 益	-37	-9	-60	-4	-21	-9	-75	-22
	販売価格	17	34	0	28	21	42	0	20
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	34	32	40	27	29	30	25	44
	② 同業者間の競争の激化	17	23	20	16	21	27	-	13
	③ 仕入先からの値上げ要請	17	19	40	18	14	18	25	15
	④ 利幅の縮小	11	14	-	22	14	16	-	15
	⑤ 大型店との競争の激化	11	18	-	17	29	17	-	11
重点経営施策	① 経費を節減する	31	47	20	45	36	47	50	36
	② 売れ筋商品を取り扱う	14	21	-	16	14	20	-	23
	③ 宣伝・広告を強化する	11	15	-	15	7	18	25	16
	④ 品揃えを改善する	11	26	-	17	14	27	25	40
	⑤ 商店街事業を活性化させる	9	11	-	9	14	12	-	4
借入の難易度		-10	-6	-25	4	-8	-6	0	-16

【来期の景況見通し】

業 況		10	-7	72	72
売上 額		0	3	27	27
収 益		-1	-4	29	29
販売価格		20	26	29	29
仕入価格		35	40	60	60
在 庫		11	5	34	34
資金繰り		11	-8	27	27
雇用	残業時間	-5	1	0	0
	人 手	-14	-15	0	0

【来期の景況見通し】

業 況		-25	-13	-43	-13	-13	-13	-47	-22
売上 額		-18	-3	-29	-9	-8	1	-48	-12
収 益		-25	-9	-32	-9	-14	-9	-72	-17
販売価格		8	25	13	22	14	30	-2	19
仕入価格		22	35	14	29	19	38	58	32
在 庫		-1	2	-6	1	1	0	-7	9
資金繰り		-9	-11	-3	-4	-10	-11	-7	-18
雇用	残業時間	0	0	0	-5	0	-1	0	-2
	人 手	-3	-12	0	-7	0	-13	0	-13

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

中小企業景況調査 比較表

令和7年7月～9月期

サービス業

【今期の景況】

		全 体	
		江東区	全都
業 況		-9	-3
売 上 額		-4	4
収 益		-9	-3
料金価格		6	22
材料価格		14	37
資金繰り		-6	-8
雇 用	残業時間	0	0
	人 手	-3	-25
同 期 比	売 上 額	7	13
	収 益	3	3
経 営 上 の 問 題 点	① 同業者間の競争の激化	35	21
	② 材料価格の上昇	17	22
	③ 売上の停滞・減少	17	25
	④ 人件費の増加	7	5
	⑤ 商圏人口の減少	7	14
重 点 経 営 施 策	① 経費を節減する	41	39
	② 販路を広げる	28	38
	③ 技術力を強化する	10	18
	④ 人材を確保する	7	11
	⑤ 宣伝・広告を強化する	3	1
借入の難易度		-14	-4

【来期の景況見通し】

業 況		-13	-3
売 上 額		-1	2
収 益		-5	-3
料金価格		1	18
材料価格		16	34
資金繰り		-4	-7
雇 用	残業時間	0	1
	人 手	-3	-25

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

中小企業景況調査 転記表 1

令和7年7月～9月期

製造業

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		令和5年 10月～12月期		令和6年 1月～3月期		令和6年 4月～6月期		令和6年 7月～9月期		令和6年 10月～12月期		令和7年 1月～3月期		令和7年 4月～6月期		令和7年 7月～9月期		対 前期比	7年 10-12 月期
業 況	良 い	8.6	9.6	11.8	10.7	7.6	10.0	11.5	7.8	9.7	7.8	9.8	10.0	6.0	9.2	8.2	8.2		7.2
	普 通	59.0	63.5	60.7	59.2	65.7	66.0	62.5	67.7	66.0	70.6	69.6	69.0	72.0	70.4	71.4	72.2		76.3
	悪 い	32.4	26.9	27.5	30.1	26.7	24.0	26.0	24.5	24.3	21.6	20.6	21.0	22.0	20.4	20.4	19.6		16.5
	D・I	-23.8	-17.3	-15.7	-19.4	-19.1	-14.0	-14.5	-16.7	-14.6	-13.8	-10.8	-11.0	-16.0	-11.2	-12.2	-11.4		-9.3
	修 正 値	-24.3	-15.7	-15.4	-19.2	-16.9	-14.8	-15.2	-16.0	-15.7	-12.6	-12.0	-11.7	-18.3	-12.9	-16.1	-15.1	2.2	-11.5
	傾 向 値	-23.7		-21.8		-20.0		-19.1		-17.1		-15.4		-14.4		-13.7			
売 上 額	増 加	15.1	13.3	11.8	11.3	9.5	8.9	8.7	11.4	8.7	8.7	9.8	7.8	11.0	11.8	10.2	13.0		9.2
	変 ら ず	64.1	73.4	72.5	73.6	71.5	78.2	72.1	74.3	74.8	76.9	78.4	78.6	75.0	77.4	77.6	80.0		82.6
	減 少	20.8	13.3	15.7	15.1	19.0	12.9	19.2	14.3	16.5	14.4	11.8	13.6	14.0	10.8	12.2	7.0		8.2
	D・I	-5.7	0.0	-3.9	-3.8	-9.5	-4.0	-10.5	-2.9	-7.8	-5.7	-2.0	-5.8	-3.0	1.0	-2.0	6.0		1.0
	修 正 値	-7.5	0.7	-3.9	-4.7	-7.2	-5.6	-10.1	-1.3	-10.3	-5.8	-4.4	-6.8	-7.5	-2.1	-5.5	0.5	2.0	-1.6
	傾 向 値	-6.4		-5.2		-5.3		-6.8		-7.7		-7.7		-6.6		-4.8			
受 注 残	増 加	10.4	7.6	11.8	8.5	11.4	7.9	8.7	8.6	8.7	7.7	11.8	6.8	12.0	12.7	11.2	11.0		8.2
	変 ら ず	70.7	80.0	70.6	76.4	71.5	76.3	76.9	78.1	77.7	80.8	78.4	83.5	74.0	78.5	77.6	81.0		84.7
	減 少	18.9	12.4	17.6	15.1	17.1	15.8	14.4	13.3	13.6	11.5	9.8	9.7	14.0	8.8	11.2	8.0		7.1
	D・I	-8.5	-4.8	-5.8	-6.6	-5.7	-7.9	-5.7	-4.7	-4.9	-3.8	2.0	-2.9	-2.0	3.9	0.0	3.0		1.1
	修 正 値	-9.7	-4.1	-5.5	-7.1	-4.1	-9.1	-6.6	-3.0	-7.1	-4.6	-0.2	-4.6	-6.1	0.9	-4.3	-0.7	1.8	-1.8
	傾 向 値	-7.1		-6.9		-6.7		-6.7		-6.0		-4.6		-3.1		-1.9			
収 益	増 加	9.4	7.6	9.8	8.5	9.5	8.9	8.7	7.6	9.7	7.7	11.8	7.8	10.0	12.7	9.2	9.0		7.1
	変 ら ず	69.8	78.1	79.4	79.2	75.3	80.2	75.9	79.1	77.7	76.9	75.5	74.7	76.0	75.5	78.6	80.0		82.7
	減 少	20.8	14.3	10.8	12.3	15.2	10.9	15.4	13.3	12.6	15.4	12.7	17.5	14.0	11.8	12.2	11.0		10.2
	D・I	-11.4	-6.7	-1.0	-3.8	-5.7	-2.0	-6.7	-5.7	-2.9	-7.7	-0.9	-9.7	-4.0	0.9	-3.0	-2.0		-3.1
	修 正 値	-12.5	-4.7	-2.9	-5.1	-4.5	-4.7	-6.3	-4.6	-5.4	-5.9	-3.8	-10.9	-8.3	-3.5	-5.7	-6.2	2.6	-3.8
	傾 向 値	-9.8		-8.3		-6.5		-6.3		-5.1		-4.1		-3.8		-3.2			
価 格 動 向	販 売 価 格	11.3	12.3	7.9	10.4	11.4	9.9	11.6	13.3	11.7	16.3	10.8	14.6	14.0	11.8	9.2	21.0		11.2
	〃 修 正 値	10.5	10.6	7.5	10.2	10.4	8.1	9.0	12.5	10.5	13.8	10.7	14.0	11.5	10.5	6.7	17.8	-4.8	9.0
	〃 傾 向 値	9.6		10.8		10.9		10.8		10.6		11.0		11.7		11.7			
	原 材 料 価 格	29.3	26.6	23.6	24.5	32.3	23.7	32.7	34.3	27.2	32.7	20.6	28.1	27.0	22.5	23.4	29.0		19.3
	〃 修 正 値	28.9	23.6	22.4	24.9	29.7	21.4	28.5	32.4	27.2	29.0	21.0	28.7	23.4	21.6	19.8	25.4	-3.6	17.0
	〃 傾 向 値	28.0		28.8		28.5		29.2		29.2		28.6		27.5		25.7			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原材料在庫数量	-3.8	-2.8	-0.9	0.0	-4.7	-1.0	-1.0	-2.9	-2.0	1.0	-2.9	-3.0	0.0	-0.9	-2.0	0.0		-1.0
	〃 修 正 値	-3.2	-2.3	-1.3	0.7	-3.9	-2.0	-1.5	-2.3	-1.7	0.9	-3.3	-2.2	0.4	-1.6	-3.0	0.3	-3.4	-1.7
	資 金 繰 り	-8.5	-4.9	-5.9	-6.6	-10.5	-3.9	-9.7	-6.7	-6.8	-4.8	-2.0	-2.0	-6.0	-4.9	-7.2	-1.0		-4.1
前 年 同 期 比	〃 修 正 値	-8.4	-4.3	-5.0	-8.0	-9.6	-4.3	-10.4	-5.9	-7.5	-4.4	-2.6	-3.9	-8.0	-5.5	-9.2	-3.3	-1.2	-5.1
	売 上 額	8.5		1.0		-0.9		-2.8		-6.8		-4.9		0.0		0.0			
	収 益	-8.5		1.9		-5.7		-5.8		-8.7		-3.9		-7.0		-7.1			
雇 用	残 業 時 間	-2.9	-1.9	-3.9	-3.8	-3.8	-4.9	-1.0	-3.8	1.0	-1.9	-2.9	-2.9	0.0	-1.9	0.0	-2.0		-1.0
	人 手	-7.5	-4.8	-3.0	-6.7	-4.8	-2.9	-5.7	-4.9	-3.9	-4.8	-6.8	-3.9	-7.0	-6.8	-4.1	-6.0		-4.1
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	14.3	8.6	10.9	8.7	15.2	8.9	13.5	9.5	8.7	9.7	12.7	10.7	11.0	7.8	13.3	11.2		8.2
	借入しない/借入の予定なし(%)	85.7	91.4	89.1	91.3	84.8	91.1	86.5	90.5	91.3	90.3	87.3	89.3	89.0	92.2	86.7	88.8		91.8
	借 入 難 易 度	-7.2		-8.6		-11.0		-9.6		-7.3		-11.7		-4.4		-8.2			
有効回答事業所数		107		103		105		104		103		102		100		98			

中小企業景況調査 転記表 2

令和7年7月～9月期

製造業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		令和5年 10月～12月期		令和6年 1月～3月期		令和6年 4月～6月期		令和6年 7月～9月期		令和6年 10月～12月期		令和7年 1月～3月期		令和7年 4月～6月期		令和7年 7月～9月期		対 前期比	7年 10-12 月期
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-5.7	-1.9	-5.9	-5.7	-2.9	-5.9	0.0	-1.9	-2.9	1.0	2.9	-0.9	-2.0	1.0	0.0	-2.0		0.0
	実施した・予定あり	9.4	8.7	7.8	10.4	9.6	9.8	8.7	9.6	8.7	7.8	9.8	9.8	8.0	11.1	6.1	9.1		8.2
	事業用土地・建物	40.0	44.4	25.0	27.3	30.0	30.0	22.2	20.0	22.2	37.5	-	30.0	-	18.2	16.7	22.2		-
	機械・設備の新・増設	30.0	22.2	25.0	36.4	20.0	40.0	33.3	20.0	44.4	25.0	50.0	40.0	37.5	36.4	33.3	33.3		37.5
	機械・設備の更改	70.0	77.8	75.0	72.7	60.0	70.0	55.6	80.0	44.4	62.5	30.0	50.0	37.5	63.6	33.3	55.6		50.0
	事務機器	10.0	11.1	25.0	9.1	10.0	10.0	11.1	10.0	11.1	12.5	-	10.0	12.5	-	-	-		-
	車両	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	12.5	-	16.7	-		12.5
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	90.6	91.3	92.2	89.6	90.4	90.2	91.3	90.4	91.3	92.2	90.2	90.2	92.0	88.9	93.9	90.9		91.8
経営 上の 問題 点 (%)	売上の停滞・減少	31.8		33.0		31.4		28.8		29.1		24.5		21.0		21.4			
	人手不足	10.3		6.8		8.6		7.7		5.8		9.8		9.0		8.2			
	大手企業との競争の激化	5.6		4.9		5.7		5.8		4.9		3.9		3.0		3.1			
	同業者間の競争の激化	15.0		11.7		16.2		17.3		17.5		14.7		18.0		17.3			
	親企業による選別の強化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	輸入製品との競争の激化	1.9		1.0		1.0		1.0		1.0		2.0		2.0		1.0			
	合理化の不足	0.9		3.9		2.9		2.9		3.9		2.0		2.0		2.0			
	利幅の縮小	6.5		5.8		10.5		9.6		9.7		8.8		14.0		14.3			
	原材料高	21.5		24.3		25.7		26.0		27.2		23.5		31.0		25.5			
	販売納入先からの値下げ要請	0.9		1.0		2.9		1.0		1.0		1.0		1.0		3.1			
	仕入先からの値上げ要請	10.3		10.7		8.6		7.7		5.8		5.9		7.0		11.2			
	人件費の増加	3.7		3.9		5.7		4.8		4.9		4.9		5.0		6.1			
	人件費以外の経費の増加	1.9		1.9		1.9		1.9		1.0		1.0		2.0		3.1			
	工場・機械の狭小・老朽化	5.6		6.8		5.7		6.7		4.9		4.9		6.0		8.2			
	生産能力の不足	1.9		1.9		3.8		3.8		4.9		2.9		4.0		1.0			
	下請の確保難	0.9		1.0		1.9		1.0		1.0		1.0		2.0		1.0			
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	地価の高騰	-		-		1.9		1.0		1.9		1.0		-		-			
	天候の不順	-		-		-		-		-		-		-		1.0			
	地場産業の衰退	3.7		1.9		1.9		1.9		2.9		2.0		2.0		3.1			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.9		1.0		-		-		1.0		1.0		1.0		-			
	為替レートの変動	-		-		-		-		-		1.0		1.0		1.0			
	その他	-		1.0		1.9		1.9		1.0		2.0		3.0		2.0			
	問題なし	35.5		33.0		25.7		27.9		27.2		37.3		29.0		29.6			
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	41.1		40.8		40.0		38.5		42.7		39.2		41.0		38.8			
	経費を節減する	36.4		40.8		41.9		37.5		38.8		33.3		37.0		42.9			
	情報力を強化する	2.8		2.9		10.5		9.6		13.6		7.8		12.0		13.3			
	新製品・技術を開発する	2.8		1.0		1.0		2.9		1.9		2.0		1.0		1.0			
	不採算部門を整理・縮小する	4.7		3.9		5.7		3.8		3.9		2.9		4.0		6.1			
	提携先を見つける	0.9		1.9		1.9		1.9		1.9		2.9		1.0		3.1			
	機械化を推進する	5.6		4.9		2.9		3.8		1.9		2.0		4.0		3.1			
	人材を確保する	8.4		5.8		9.5		14.4		10.7		12.7		12.0		8.2			
	パート化を図る	1.9		1.9		1.9		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0			
	教育訓練を強化する	0.9		1.0		-		-		-		1.0		2.0		1.0			
	労働条件を改善する	2.8		1.0		-		1.9		1.9		1.0		1.0		2.0			
	工場・機械を増設・移転する	2.8		2.9		4.8		2.9		3.9		2.0		2.0		2.0			
	不動産の有効活用を図る	0.9		-		1.0		1.0		-		-		2.0		1.0			
	その他	0.9		1.0		1.0		1.0		1.0		2.0		2.0		2.0			
	特になし	40.2		40.8		33.3		32.7		28.2		45.1		38.0		36.7			
有効回答事業所数		107		103		105		104		103		102		100		98			

中小企業景況調査 転記表 1

令和7年7月～9月期

卸 売 業

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		令和5年 10月～12月期		令和6年 1月～3月期		令和6年 4月～6月期		令和6年 7月～9月期		令和6年 10月～12月期		令和7年 1月～3月期		令和7年 4月～6月期		令和7年 7月～9月期		対 前期比	7年 10～12 月期
業 況	良 い	21.7	13.0	25.0	30.4	20.8	25.0	25.0	20.8	23.8	43.5	35.0	42.9	27.3	35.0	33.3	27.3		23.8
	普 通	47.9	56.6	50.0	43.5	66.7	58.3	54.2	62.5	66.7	34.8	55.0	52.3	59.1	55.0	57.2	68.2		66.7
	悪 い	30.4	30.4	25.0	26.1	12.5	16.7	20.8	16.7	9.5	21.7	10.0	4.8	13.6	10.0	9.5	4.5		9.5
	D・I	-8.7	-17.4	0.0	4.3	8.3	8.3	4.2	4.1	14.3	21.8	25.0	38.1	13.7	25.0	23.8	22.8		14.3
	修 正 値	-13.3	-13.9	-6.6	-0.5	9.1	5.5	9.0	3.8	11.0	18.7	15.6	30.7	6.6	18.9	20.3	19.8	13.7	9.8
	傾 向 値	-20.0		-16.2		-10.4		-2.8		3.8		9.8		13.6		16.8			
売 上 額	増 加	30.4	13.0	33.3	30.4	20.8	33.3	20.8	25.0	23.8	29.2	25.0	30.0	27.3	15.0	23.8	27.3		9.5
	変 ら ず	39.2	52.2	50.0	39.2	58.4	45.9	58.4	50.0	66.7	58.3	65.0	70.0	59.1	75.0	66.7	68.2		81.0
	減 少	30.4	34.8	16.7	30.4	20.8	20.8	20.8	25.0	9.5	12.5	10.0	-	13.6	10.0	9.5	4.5		9.5
	D・I	0.0	-21.8	16.6	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	14.3	16.7	15.0	30.0	13.7	5.0	14.3	22.8		0.0
	修 正 値	-4.8	-16.9	12.5	1.7	0.8	11.2	5.9	-5.5	7.8	18.4	7.7	26.8	5.6	2.4	11.2	10.0	5.6	0.3
	傾 向 値	-18.3		-13.1		-6.2		0.4		5.9		7.5		9.0		12.5			
収 益	増 加	26.1	13.0	25.0	30.4	20.8	25.0	12.5	25.0	14.3	25.0	20.0	15.0	27.3	5.0	19.0	31.8		14.3
	変 ら ず	43.5	52.2	50.0	43.5	54.2	45.8	66.7	54.2	85.7	62.5	60.0	85.0	54.5	75.0	62.0	63.7		76.2
	減 少	30.4	34.8	25.0	26.1	25.0	29.2	20.8	20.8	-	12.5	20.0	-	18.2	20.0	19.0	4.5		9.5
	D・I	-4.3	-21.8	0.0	4.3	-4.2	-4.2	-8.3	4.2	14.3	12.5	0.0	15.0	9.1	-15.0	0.0	27.3		4.8
	修 正 値	-11.1	-21.6	-0.2	1.8	-1.1	0.5	-5.0	1.8	3.3	9.2	-1.6	8.7	3.6	-9.2	-3.1	14.1	-6.7	-1.0
	傾 向 値	-27.4		-22.2		-14.1		-7.0		-1.9		0.5		2.1		4.8			
価 格 動 向	販 売 価 格	30.5	8.7	37.5	21.8	37.5	37.5	45.8	33.3	28.6	37.5	35.0	28.6	40.9	35.0	23.8	36.4		19.0
	〃 修 正 値	29.6	10.2	33.8	21.2	32.2	30.3	39.7	26.0	31.2	37.5	31.1	30.2	33.2	28.8	19.2	28.1	-14.0	19.7
	〃 傾 向 値	29.0		31.7		33.7		36.5		37.6		37.0		37.2		34.8			
	仕 入 価 格	47.8	43.5	45.8	34.8	58.3	47.8	54.1	54.2	47.6	37.5	50.0	38.1	50.0	45.0	52.4	40.9		38.1
	〃 修 正 値	50.2	37.3	44.8	42.2	48.8	43.5	46.3	44.1	53.1	32.2	49.4	46.9	40.8	40.5	45.1	32.7	4.3	35.1
	〃 傾 向 値	56.9		57.0		54.6		52.9		51.5		52.0		51.5		50.2			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	4.4	-8.7	-4.2	4.4	0.0	4.2	4.2	4.2	-4.7	8.3	15.0	14.3	9.1	5.0	9.5	9.1		9.5
	〃 修 正 値	5.6	-9.2	-2.1	2.9	-1.3	7.2	1.9	2.5	-5.2	6.9	13.2	9.2	8.6	6.8	8.7	7.4	0.1	10.6
	資 金 繰 り	0.0	-17.4	0.0	0.0	16.6	0.0	4.2	16.6	9.5	8.4	10.0	23.8	13.7	5.0	9.5	13.7		14.2
前 年 同 期 比	〃 修 正 値	-6.5	-16.2	0.9	-6.4	17.0	-2.2	4.9	20.3	3.2	8.0	9.6	15.2	6.7	4.2	5.8	9.6	-0.9	10.7
	売 上 額	4.4		25.0		8.3		8.4		14.3		15.0		9.1		19.0			
	収 益	-4.3		4.2		-4.1		-8.4		23.8		5.0		18.2		14.3			
雇 用	販 売 価 格	39.2		33.3		37.5		45.8		33.4		25.0		45.5		33.3			
	残 業 時 間	8.7	-4.3	4.2	0.0	8.3	4.2	4.1	0.0	9.5	0.0	0.0	4.7	0.0	5.0	-4.8	-4.5		-4.8
	人 手	-26.1	-21.7	-25.0	-21.7	-25.0	-25.0	-16.7	-20.8	-19.0	-17.4	-15.0	-19.0	-27.3	-15.0	-14.3	-27.3		-14.3
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	26.1	17.4	29.2	13.0	25.0	16.7	25.0	16.7	20.0	16.7	5.0	14.3	9.5	20.0	14.3	9.5		14.3
	借入しない/借入の予定なし(%)	73.9	82.6	70.8	87.0	75.0	83.3	75.0	83.3	80.0	83.3	95.0	85.7	90.5	80.0	85.7	90.5		85.7
	借 入 難 易 度	-9.1		0.0		4.3		14.3		0.0		-5.0		15.0		-5.2			
有効回答事業所数		23		24		24		24		21		20		22		21			

中小企業景況調査 転記表 2

令和7年7月～9月期

卸 売 業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		令和5年 10月～12月期		令和6年 1月～3月期		令和6年 4月～6月期		令和6年 7月～9月期		令和6年 10月～12月期		令和7年 1月～3月期		令和7年 4月～6月期		令和7年 7月～9月期		対 前期比	7年 10-12 月期
設 備 投 資 動 向 (%)	現在の設備	0.0	0.0	0.0	0.0	-4.1	0.0	-8.7	-4.1	0.0	-8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	-9.5	0.0		-9.5
	実施した・予定あり	18.2	22.7	17.4	18.2	17.4	25.0	14.3	18.2	15.0	33.3	21.1	25.0	20.0	5.3	20.0	15.0		20.0
	事業用土地・建物	25.0	20.0	25.0	25.0	50.0	33.3	66.7	25.0	33.3	28.6	50.0	-	25.0	-	25.0	33.3		25.0
	事務機器	25.0	20.0	25.0	25.0	50.0	16.7	33.3	50.0	33.3	14.3	-	20.0	-	-	-	-		-
	車両	75.0	60.0	50.0	75.0	75.0	33.3	33.3	25.0	33.3	28.6	25.0	40.0	-	-	25.0	-		50.0
		75.0	80.0	75.0	75.0	25.0	33.3	33.3	50.0	66.7	28.6	25.0	40.0	25.0	100.0	25.0	33.3		25.0
		25.0	20.0	50.0	25.0	-	50.0	33.3	25.0	33.3	42.9	25.0	60.0	75.0	100.0	50.0	33.3		25.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	81.8	77.3	82.6	81.8	82.6	75.0	85.7	81.8	85.0	66.7	78.9	75.0	80.0	94.7	80.0	85.0		80.0
経 営 上 の 問 題 点 (%)	売上の停滞・減少	17.4		25.0		25.0		29.2		19.0		15.0		18.2		19.0			
	人手不足	13.0		12.5		8.3		16.7		14.3		15.0		22.7		19.0			
	同業者間の競争の激化	13.0		8.3		8.3		8.3		19.0		15.0		13.6		9.5			
	輸入品との競争の激化	4.3		-		8.3		8.3		4.8		-		4.5		4.8			
	流通経路の変化による競争の激化	-		-		-		-		-		-		4.5		-			
	合理化の不足	-		-		8.3		8.3		9.5		-		9.1		-			
	小口注文・多頻度配送の増加	4.3		-		4.2		4.2		-		-		4.5		4.8			
	利幅の縮小	26.1		20.8		29.2		29.2		23.8		25.0		18.2		9.5			
	取扱商品の陳腐化	4.3		4.2		4.2		4.2		4.8		5.0		4.5		4.8			
	販売商品の不足	13.0		16.7		8.3		8.3		14.3		10.0		9.1		14.3			
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		-		-		-		-		4.8			
	仕入先からの値上げ要請	26.1		29.2		25.0		25.0		19.0		20.0		18.2		23.8			
	人件費の増加	-		4.2		8.3		8.3		9.5		10.0		13.6		-			
	人件費以外の経費の増加	-		-		4.2		-		-		-		-		-			
	取引先の減少	4.3		8.3		8.3		8.3		4.8		5.0		9.1		4.8			
	店舗の狭小・老朽化	-		-		4.2		-		-		-		-		-			
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	地価の高騰	8.7		8.3		4.2		4.2		-		-		-		-			
	駐車場の確保難	4.3		4.2		-		4.2		4.8		5.0		4.5		4.8			
	天候の不順	-		-		-		-		-		-		-		4.8			
	地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-			
	為替レートの変動	13.0		12.5		4.2		12.5		9.5		5.0		4.5		9.5			
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
	問題なし	30.4		29.2		16.7		16.7		28.6		40.0		22.7		28.6			
重 点 経 営 施 策 (%)	販路を広げる	39.1		41.7		33.3		37.5		33.3		35.0		36.4		28.6			
	経費を節減する	21.7		12.5		20.8		25.0		19.0		20.0		27.3		28.6			
	品揃えを充実する	17.4		12.5		16.7		12.5		9.5		-		-		-			
	情報力を強化する	17.4		16.7		20.8		25.0		23.8		20.0		36.4		28.6			
	新しい事業を始める	-		4.2		-		-		-		-		-		-			
	提携先を見つける	-		-		-		-		-		-		4.5		-			
	機械化を推進する	-		4.2		-		-		4.8		-		-		4.8			
	人材を確保する	17.4		20.8		20.8		20.8		9.5		20.0		22.7		14.3			
	パート化を図る	4.3		4.2		-		-		4.8		-		-		-			
	教育訓練を強化する	4.3		4.2		12.5		8.3		-		-		9.1		9.5			
	流通経路の見直しをする	4.3		8.3		4.2		4.2		9.5		15.0		4.5		4.8			
	取引先を支援する	4.3		4.2		4.2		8.3		4.8		5.0		-		-			
	輸入品の取扱いを増やす	4.3		-		-		-		-		-		4.5		4.8			
	労働条件を改善する	-		-		4.2		4.2		-		-		-		4.8			
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		4.8			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
	特になし	34.8		33.3		25.0		20.8		33.3		45.0		27.3		38.1			
有効回答事業所数		23		24		24		24		21		20		22		21			

中小企業景況調査 転記表 1

令和7年7月～9月期

小 売 業

注：各項目の右側は、前期調査における予想（予定）値です。

調査期		令和5年 10月～12月期	令和6年 1月～3月期	令和6年 4月～6月期	令和6年 7月～9月期	令和6年 10月～12月期	令和6年 1月～3月期	令和6年 4月～6月期	令和6年 7月～9月期	令和6年 10月～12月期	令和6年 1月～3月期	令和6年 4月～6月期	令和6年 7月～9月期	令和6年 10月～12月期	令和6年 1月～3月期	令和6年 4月～6月期	令和6年 7月～9月期	対 前期比	7年 10～12 月期
業 況	良 い	-	5.0	-	-	-	2.6	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	普 通	76.7	75.0	79.5	78.6	69.4	76.3	70.3	67.6	73.0	79.4	82.1	82.9	73.0	82.1	74.3	80.6		74.3
	悪 い	23.3	20.0	20.5	21.4	30.6	21.1	27.0	32.4	27.0	20.6	17.9	17.1	27.0	17.9	25.7	19.4		25.7
	D・I	-23.3	-15.0	-20.5	-21.4	-30.6	-18.5	-24.3	-32.4	-27.0	-20.6	-17.9	-17.1	-27.0	-17.9	-25.7	-19.4		-25.7
	修 正 値	-23.2	-12.5	-20.6	-21.2	-28.8	-20.0	-23.9	-30.8	-26.0	-18.8	-19.7	-17.3	-27.7	-20.4	-26.6	-19.6	1.1	-24.9
	傾 向 値	-23.5		-22.5		-22.6		-24.1		-25.1		-25.3		-24.5		-24.2			
売 上 額	増 加	4.7	2.4	5.1	4.7	2.8	5.1	2.7	2.8	5.4	-	2.6	8.1	2.7	-	-	2.7		-
	変 ら ず	76.7	80.5	82.1	79.0	72.2	84.6	83.8	77.8	75.7	91.7	87.1	86.5	75.7	94.9	77.1	83.8		77.1
	減 少	18.6	17.1	12.8	16.3	25.0	10.3	13.5	19.4	18.9	8.3	10.3	5.4	21.6	5.1	22.9	13.5		22.9
	D・I	-13.9	-14.7	-7.7	-11.6	-22.2	-5.2	-10.8	-16.6	-13.5	-8.3	-7.7	2.7	-18.9	-5.1	-22.9	-10.8		-22.9
	修 正 値	-13.3	-10.8	-10.1	-11.3	-20.3	-9.5	-9.5	-15.6	-13.3	-3.7	-12.0	1.1	-18.9	-10.4	-21.4	-11.6	-2.5	-18.4
	傾 向 値	-17.7		-16.1		-15.1		-14.4		-13.6		-13.6		-13.1		-14.2			
収 益	増 加	2.3	-	2.6	2.3	5.6	2.6	5.4	5.6	-	2.8	-	2.7	-	2.6	-	-		-
	変 ら ず	76.8	80.5	79.5	79.1	66.6	84.6	75.7	72.2	67.6	83.3	89.7	81.1	75.7	92.3	71.4	78.4		71.4
	減 少	20.9	19.5	17.9	18.6	27.8	12.8	18.9	22.2	32.4	13.9	10.3	16.2	24.3	5.1	28.6	21.6		28.6
	D・I	-18.6	-19.5	-15.3	-16.3	-22.2	-10.2	-13.5	-16.6	-32.4	-11.1	-10.3	-13.5	-24.3	-2.5	-28.6	-21.6		-28.6
	修 正 値	-17.7	-16.6	-15.9	-15.6	-21.7	-13.6	-12.3	-16.1	-28.5	-7.6	-14.6	-11.3	-26.3	-8.8	-27.8	-22.5	-1.5	-24.8
	傾 向 値	-18.9		-18.8		-19.1		-18.5		-19.1		-20.2		-19.9		-22.0			
価 格 動 向	販 売 価 格	11.6	7.3	15.4	7.0	22.2	10.3	21.6	19.4	16.2	16.7	15.4	13.5	10.8	10.3	8.6	10.8		8.6
	〃 修 正 値	12.6	9.0	11.9	7.4	20.2	5.6	20.0	18.2	18.7	17.8	13.5	15.5	8.2	7.5	6.4	8.6	-1.8	8.2
	〃 傾 向 値	11.9		14.2		16.1		17.4		18.3		18.9		17.4		14.4			
	仕 入 価 格	25.5	12.2	33.4	18.6	36.1	20.5	43.2	33.3	32.4	38.9	28.2	29.7	29.7	17.9	28.6	18.9		25.7
	〃 修 正 値	23.9	13.7	27.8	16.5	34.2	16.1	41.1	31.8	33.3	37.4	25.6	29.6	27.2	17.7	24.7	18.0	-2.5	21.7
	〃 傾 向 値	24.6		26.6		28.8		32.2		35.4		35.6		34.2		31.6			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-7.0	-7.3	-5.1	-7.0	-5.6	-7.7	0.0	-5.6	5.4	-2.8	-5.1	0.0	-5.4	-5.1	0.0	-2.7		0.0
	〃 修 正 値	-6.4	-5.5	-5.9	-5.2	-5.9	-8.7	1.2	-6.1	5.2	-1.8	-5.3	1.6	-5.0	-4.9	-1.5	-4.0	3.5	-1.0
	資 金 繰 り	-7.1	-9.8	-5.1	-7.1	-11.1	-7.7	-8.1	-11.1	-5.4	-8.3	0.0	-2.7	-8.1	0.0	-11.4	-8.1		-11.4
前 年 同 期 比	〃 修 正 値	-7.1	-6.0	-8.0	-6.0	-10.2	-11.3	-4.1	-10.6	-5.3	-4.0	-5.1	-1.7	-11.0	-4.7	-9.6	-10.9	1.4	-9.0
	売 上 額	-4.6		-5.2		-13.9		-16.2		-16.2		-10.3		-18.9		-22.9			
	収 益	-11.6		-5.2		-19.4		-24.3		-37.8		-17.9		-32.4		-37.1			
雇 用	販 売 価 格	16.6		17.9		25.0		21.6		10.8		12.8		13.5		17.1			
	残 業 時 間	-2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.7	0.0	-2.7	-2.8	0.0	2.7	-2.7	0.0	0.0	-2.7		0.0
	人 手	-7.0	-4.9	-10.3	-7.0	-8.3	-7.7	-10.8	-5.6	-13.5	-8.3	-10.3	-13.5	-8.1	-10.3	-2.8	-8.1		-2.8
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	7.0	2.4	10.3	2.3	8.3	5.1	10.8	2.8	8.1	5.6	7.7	5.4	2.7	2.6	5.7	5.4		8.6
	借入しない/借入の予定なし(%)	93.0	97.6	89.7	97.7	91.7	94.9	89.2	97.2	91.9	94.4	92.3	94.6	97.3	97.4	94.3	94.6		91.4
	借 入 難 易 度	-7.7		-5.9		-9.4		-8.8		-8.8		-14.3		-9.1		-10.3			
有効回答事業所数		43		39		36		38		37		39		37		35			

中小企業景況調査 転記表 2

令和7年7月～9月期

小 売 業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		令和5年 10月～12月期		令和6年 1月～3月期		令和6年 4月～6月期		令和6年 7月～9月期		令和6年 10月～12月期		令和7年 1月～3月期		令和7年 4月～6月期		令和7年 7月～9月期		対 前期比	7年 10-12 月期
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-4.7	-2.4	-5.1	-2.3	-2.8	-5.1	-5.4	-2.8	-2.7	-2.8	0.0	-2.7	0.0	0.0	-5.7	0.0		-2.9
	実施した・予定あり	2.3	2.5	5.1	2.3	5.7	2.6	5.4	5.9	5.4	5.6	0.0	2.7	0.0	0.0	3.0	2.9		3.0
	事業用土地・建物	-	-	-	-	50.0	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	100.0	-	-	-	-		-
	事務機器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-		100.0
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0		-
	その他	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	97.7	97.5	94.9	97.7	94.3	97.4	94.6	94.1	94.6	94.4	100.0	97.3	100.0	100.0	97.0	97.1		97.0
経営 上の 問題 点 (%)	売上の停滞・減少	32.6		25.6		36.1		34.2		40.5		28.2		37.8		34.3			
	人手不足	7.0		5.1		2.8		7.9		8.1		7.7		5.4		8.6			
	同業者間の競争の激化	18.6		20.5		16.7		15.8		16.2		17.9		18.9		11.4			
	大型店との競争の激化	11.6		12.8		13.9		10.5		13.5		15.4		13.5		11.4			
	輸入製品との競争の激化	2.3		-		-		2.6		2.7		2.6		5.4		2.9			
	利幅の縮小	16.3		10.3		16.7		13.2		21.6		7.7		16.2		17.1			
	取扱商品の陳腐化	-		-		-		-		-		2.6		2.7		-			
	販売商品の不足	2.3		2.6		2.8		5.3		5.4		2.6		2.7		2.9			
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		2.8		-		-		-		-		-			
	仕入先からの値上げ要請	27.9		25.6		33.3		26.3		27.0		23.1		16.2		17.1			
	人件費の増加	2.3		5.1		11.1		10.5		8.1		7.7		8.1		8.6			
	人件費以外の経費の増加	2.3		2.6		2.8		2.6		2.7		2.6		2.7		-			
	取引先の減少	2.3		-		-		-		-		2.6		-		-			
	商圏人口の減少	-		-		-		-		-		2.6		2.7		-			
	商店街の集客力の低下	4.7		7.7		5.6		10.5		8.1		7.7		8.1		5.7			
	店舗の狭小・老朽化	-		-		-		-		-		-		-		5.7			
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-			
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-			
	天候の不順	-		-		-		-		-		-		-		2.9			
	地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-			
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
	問題なし	39.5		38.5		30.6		34.2		24.3		38.5		40.5		40.0			
重点 経営 施策 (%)	品揃えを改善する	20.9		20.5		22.2		13.2		16.2		15.4		13.5		11.4			
	経費を節減する	34.9		35.9		27.8		39.5		40.5		30.8		35.1		31.4			
	宣伝・広告を強化する	7.0		10.3		16.7		7.9		18.9		15.4		16.2		14.3			
	新しい事業を始める	2.3		2.6		-		-		-		-		-		-			
	店舗・設備を改装する	2.3		-		2.8		2.6		2.7		2.6		2.7		2.9			
	仕入先を開拓・選別する	4.7		7.7		5.6		10.5		10.8		2.6		2.7		5.7			
	営業時間を延長する	2.3		-		2.8		-		2.7		-		-		-			
	売れ筋商品を取り扱う	18.6		12.8		19.4		15.8		18.9		12.8		16.2		11.4			
	商店街事業を活性化させる	9.3		10.3		11.1		13.2		10.8		7.7		10.8		8.6			
	機械化を推進する	-		-		2.8		2.6		2.7		-		-		-			
	人材を確保する	7.0		2.6		5.6		5.3		8.1		5.1		5.4		8.6			
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-			
	教育訓練を強化する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		2.6		2.7		2.6		2.7		2.9			
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
	特になし	46.5		46.2		44.4		42.1		35.1		51.3		48.6		51.4			
有効回答事業所数		43		39		36		38		37		39		37		35			

中小企業景況調査 転記表 1

令和7年7月～9月期

サービス業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		令和5年 10月～12月期		令和6年 1月～3月期		令和6年 4月～6月期		令和6年 7月～9月期		令和6年 10月～12月期		令和7年 1月～3月期		令和7年 4月～6月期		令和7年 7月～9月期		対 前期比	7年 10-12 月期
業 況	良 い	8.8	3.0	3.0	5.9	9.4	3.0	-	6.3	3.0	-	-	-	6.7	-	6.9	6.7		3.4
	普 通	70.6	72.8	75.8	73.5	68.7	75.8	75.0	71.8	78.8	75.0	87.5	81.2	73.3	87.5	82.8	76.6		82.8
	悪 い	20.6	24.2	21.2	20.6	21.9	21.2	25.0	21.9	18.2	25.0	12.5	18.8	20.0	12.5	10.3	16.7		13.8
	D・I	-11.8	-21.2	-18.2	-14.7	-12.5	-18.2	-25.0	-15.6	-15.2	-25.0	-12.5	-18.8	-13.3	-12.5	-3.4	-10.0		-10.4
	修 正 値	-12.0	-20.9	-16.3	-13.0	-10.9	-16.3	-24.4	-17.9	-15.5	-21.9	-13.3	-16.8	-20.7	-12.8	-9.0	-19.0	11.7	-12.8
	傾 向 値	-22.9		-19.5		-16.9		-16.4		-17.3		-17.0		-16.4		-13.8			
売 上 額	増 加	8.8	3.0	6.1	5.9	12.5	6.1	3.1	6.3	6.1	3.1	6.3	3.0	10.0	9.4	10.3	10.0		6.9
	変 ら ず	64.7	78.8	69.7	70.6	68.7	66.6	78.1	71.8	75.7	75.0	81.2	78.8	70.0	81.2	82.8	76.7		86.2
	減 少	26.5	18.2	24.2	23.5	18.8	27.3	18.8	21.9	18.2	21.9	12.5	18.2	20.0	9.4	6.9	13.3		6.9
	D・I	-17.7	-15.2	-18.1	-17.6	-6.3	-21.2	-15.7	-15.6	-12.1	-18.8	-6.2	-15.2	-10.0	0.0	3.4	-3.3		0.0
	修 正 値	-16.7	-9.1	-18.3	-20.5	-3.3	-20.5	-14.7	-13.3	-12.1	-13.2	-8.3	-18.2	-18.0	-3.5	-4.2	-9.8	13.8	-0.7
	傾 向 値	-15.4		-16.1		-15.7		-14.8		-13.8		-11.6		-10.5		-8.6			
収 益	増 加	8.8	-	3.0	8.8	6.3	3.0	-	6.3	3.0	-	3.1	-	6.7	3.1	6.9	6.7		3.4
	変 ら ず	58.8	78.8	72.8	64.7	71.8	69.7	78.1	68.7	78.8	75.0	84.4	81.8	76.6	87.5	79.3	76.6		86.3
	減 少	32.4	21.2	24.2	26.5	21.9	27.3	21.9	25.0	18.2	25.0	12.5	18.2	16.7	9.4	13.8	16.7		10.3
	D・I	-23.6	-21.2	-21.2	-17.7	-15.6	-24.3	-21.9	-18.7	-15.2	-25.0	-9.4	-18.2	-10.0	-6.3	-6.9	-10.0		-6.9
	修 正 値	-25.0	-14.0	-22.7	-21.6	-11.1	-24.4	-16.9	-15.7	-18.5	-17.4	-13.5	-23.0	-16.1	-9.6	-8.5	-14.5	7.6	-4.6
	傾 向 値	-19.5		-21.3		-21.8		-21.3		-19.5		-17.0		-14.8		-12.3			
価 格 動 向	料 金 価 格	14.7	12.1	0.0	14.7	6.3	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	3.2	6.0	10.0	3.2	6.9	6.7		0.0
	〃 修正値	13.6	12.7	-3.0	13.1	8.7	1.1	5.1	1.9	0.5	2.0	1.1	4.6	8.8	2.2	6.4	6.1	-2.4	0.9
	〃 傾向値	7.1		7.5		6.0		6.0		4.2		2.8		3.6		4.6			
	材 料 価 格	38.3	30.3	21.2	29.5	37.5	21.2	34.4	28.2	33.4	34.4	21.8	27.3	30.0	15.7	13.8	26.7		17.2
	〃 修正値	34.4	31.7	19.5	27.6	36.3	18.0	34.5	26.6	29.6	34.8	22.4	25.3	26.0	15.8	13.5	22.8	-12.5	16.0
	〃 傾向値	29.5		31.3		31.2		32.3		32.2		31.7		30.8		27.3			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資 金 繰 り	-8.8	-9.1	-9.1	-5.9	-15.6	-9.1	-12.5	-15.6	-15.2	-18.8	-9.4	-15.2	0.0	-9.4	-6.9	0.0		-6.9
	〃 修正値	-11.5	-7.7	-12.5	-10.6	-10.2	-10.8	-10.3	-11.0	-17.4	-15.7	-14.0	-19.8	-2.2	-12.1	-6.3	-1.4	-4.1	-4.3
前 年 同 期 比	売 上 額	-8.8		-18.2		-9.3		-9.3		-6.1		-3.1		-3.3		6.9			
	収 益	-20.6		-24.2		-15.6		-18.8		-6.1		-12.5		-6.6		3.4			
雇 用	残 業 時 間	0.0	0.0	-6.1	-2.9	0.0	-6.1	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	人 手	-2.9	-3.0	-3.0	-2.9	-3.1	-3.0	-3.1	-3.1	-6.1	-3.1	-3.1	-6.1	-6.7	-3.1	-3.4	-6.7		-3.4
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	2.9	6.1	6.1	5.9	9.4	9.1	6.3	6.3	3.0	6.3	3.1	6.1	3.3	3.1	3.6	6.7		3.6
	借入しない/借入の予定なし(%)	97.1	93.9	93.9	94.1	90.6	90.9	93.7	93.7	97.0	93.7	96.9	93.9	96.7	96.9	96.4	93.3		96.4
	借 入 難 易 度	6.7		10.7		0.0		-10.7		-6.9		-14.8		-15.4		-13.7			
有効回答事業所数		34		33		32		32		33		32		30		29			

中小企業景況調査 転記表 2

令和7年7月～9月期

サービス業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		令和5年 10月～12月期		令和6年 1月～3月期		令和6年 4月～6月期		令和6年 7月～9月期		令和6年 10月～12月期		令和7年 1月～3月期		令和7年 4月～6月期		令和7年 7月～9月期		対 前期比	7年 10-12 月期
設 備 投 資 動 向 (%)	現在の設備	-2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-3.3	0.0	0.0	-3.3		0.0
	実施した・予定あり	5.9	0.0	12.1	2.9	6.3	6.1	6.3	6.3	9.1	6.3	6.3	6.1	10.0	3.1	10.3	6.7		10.3
	事業用土地・建物	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	事務機器	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	33.3	50.0	-	-	-	-	-	33.3	50.0		33.3
	車両	-	-	50.0	-	100.0	50.0	100.0	50.0	66.7	50.0	100.0	50.0	66.7	100.0	66.7	50.0		33.3
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
		50.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	33.3	-	-	-		33.3
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	94.1	100.0	87.9	97.1	93.7	93.9	93.7	93.7	90.9	93.7	93.7	93.9	90.0	96.9	89.7	93.3		89.7
経 営 上 の 問 題 点 (%)	売上の停滞・減少	29.4		24.2		31.3		31.3		33.3		34.4		23.3		17.2			
	人手不足	8.8		3.0		9.4		3.1		3.0		-		3.3		-			
	同業者間の競争の激化	26.5		24.2		28.1		31.3		24.2		21.9		30.0		34.5			
	大企業との競争の激化	8.8		9.1		6.3		6.3		6.1		6.3		6.7		6.9			
	合理化の不足	-		-		3.1		3.1		-		-		3.3		3.4			
	利幅の縮小	2.9		3.0		9.4		9.4		6.1		6.3		6.7		6.9			
	取扱事務の陳腐化	2.9		3.0		3.1		-		-		-		-		-			
	材料価格の上昇	23.5		24.2		34.4		37.5		33.3		34.4		26.7		17.2			
	料金の値下げ要請	-		-		-		-		-		-		-		-			
	人件費の増加	2.9		6.1		3.1		3.1		9.1		6.3		10.0		3.4			
	人件費以外の経費の増加	2.9		3.0		3.1		3.1		3.0		3.1		3.3		3.4			
	技術力の不足	-		-		3.1		-		-		-		3.3		-			
	取引先の減少	2.9		-		-		-		-		-		-		3.4			
	商圏人口の減少	-		3.0		3.1		3.1		3.0		3.1		6.7		3.4			
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-			
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-			
	店舗・設備の狭小・老朽化	-		3.0		-		-		-		-		3.3		6.9			
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	天候の不順	-		-		-		-		-		-		-		-			
	地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-			
	大手企業・工場の縮小・撤退	2.9		-		-		-		-		-		-		-			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
	問題なし	38.2		42.4		25.0		31.3		39.4		40.6		33.3		44.8			
重 点 経 営 施 策 (%)	販路を広げる	26.5		21.2		25.0		21.9		21.2		21.9		30.0		27.6			
	経費を節減する	35.3		33.3		46.9		46.9		48.5		46.9		43.3		41.4			
	宣伝・広告を強化する	8.8		12.1		18.8		18.8		15.2		12.5		6.7		10.3			
	新しい事業を始める	-		-		3.1		3.1		3.0		3.1		3.3		3.4			
	店舗・設備を改装する	2.9		3.0		3.1		3.1		3.0		-		-		3.4			
	提携先を見つける	-		3.0		3.1		-		-		-		3.3		-			
	技術力を強化する	5.9		3.0		9.4		15.6		9.1		6.3		10.0		6.9			
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	人材を確保する	2.9		3.0		-		-		3.0		-		6.7		-			
	パート化を図る	2.9		-		-		-		-		-		-		-			
	教育訓練を強化する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	労働条件を改善する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	不動産の有効活用を図る	5.9		3.0		3.1		3.1		3.0		3.1		3.3		3.4			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
	特になし	41.2		48.5		31.3		34.4		39.4		46.9		43.3		48.3			
有効回答事業所数		34		33		32		32		33		32		30		29			

江東区 中小企業の景況

(令和7年度第2四半期 江東区中小企業景況調査報告書)
令和7年7月～9月期

【発行】江東区地域振興部経済課
〒135-8383 東京都江東区東陽 4-11-28
TEL：03（3647）2332 ダイヤルイン

【分析】株式会社 総合企画
〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-7-2
TEL：03（5829）6203 （代表）

【調査】一般社団法人 東京都信用金庫協会
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-8-1

写真素材（表紙）の出典：<https://www.photo-ac.com/main/detail/3631364>